てんとう虫コミックス
スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
51
山本サトシ
日下秀憲

• Story •
Hidenori Kusaka

• Art •
Satoshi Yamamoto

POCKET MONSTERS SPECIAL

51

このお話は――

権威ある研究者より「ポケモン図鑑」を託された少年・少女～図鑑所有者たち～がポケモンと共にすごし、戦い、成長する物語である――!!!!

WHITE

いつかの時代、どこかの場所。ポケモンリーグ優勝を夢見るトレーナー・ブラックが、アララギ博士から「ポケモン図鑑」とポカブを受け取り旅立った!

リーグ開幕ギリギリで8つめのバッジを入手したブラックは、難敵を次々と撃破し決勝へ。だが決勝を戦う親友・チェレンはプラズマ団の影響を受けていた。

その頃ホワイトは、グレイとフードマンがプラズマ団だと看破するも、フードマンによって連れ去られてしまう。

混乱の中、勝利したブラック。親友を利用され怒りに燃えるブラックの前で、ついにライトストーンがレシラムに戻った!!

ホワイト

ポケモン芸能事務所「BWエージェンシー」の社長。一流のポケモンタレントを育てることが夢。仕事に対する責任感が強く、「タレント」のためならどんな苦労もいとわない。

ハンサム

国際警察の捜査官。プラズマ団の七賢人を追う潜入捜査でリーグに出場。

アララギ博士（父）

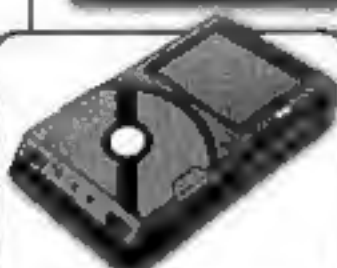
イッシュ地方のポケモン研究の権威。リーグ会場でプラズマ団を見張る。

POCKET MONSTERS SPECIAL

The Tenth Chapter 10

BLACK

舞台～イッシュ地方～

近代的な発展をとげた、巨大な地方。いくつもの橋で結ばれた数かずの街がある。中央には摩天楼がそびえ立つヒウンシティがあり、地方全体のシンボルにもなっている。

ブラック

ポケモンリーグ制覇を目ざすトレーナー。先々までよく調べ、準備する計画性と、心に火がつくと止まらない熱血性を併せ持つ。また、目で見た情報を頭の中で組み立て、真実を見つけ出す"推理タイム"を特技とする。

ゲーチス

七賢人のトップ。ポケモンの解放を訴え、リーグ制覇をたくらむ。

N

プラズマ団の王。「理想」のためにゼクロムを復活させたが…?

フードマン

正体不明のトレーナー。プラズマ団と協力関係にあるようだが、目的は!?

グレイ(ヴィオ)

正体は七賢人のヴィオ。チェレンをまどわし「冷えた心」を植えつけた。

もくじ

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#519
VSケルディオⅡ
KELDEO
かりうど
「狩人」

戦いに不要な程度の実力!?
3人がかりでやっと1つのジムを守っている?
3人そろっても1人分の戦力にも満たないだと!?
ククク。

いいか! てめえら、よく聞け…。
口論は無意味ですよ。
「その程度の実力」かどうかは戦えばわかる。

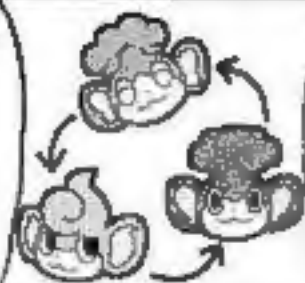
む!
タイプ相性の不利をくつがえした!!
それぞれ。
タイプ相性。
オレたちが3人で1つのジムってのは、そのためよ!
オレたちがサンヨウジムのジムリーダーになったとき…。
おめでとう!あんたたち!

3人で1つのジムを守るからって、自分たちがほかのジムリーダーたちよりおとってるなんて思うことはないんだよ！
あんたたちのジムは「タイプ相性」ってものを教えるために特別な形になっているんだからね。

新人トレーナーに対してまず教えてやんなきゃいけないのが相性だろ？
それには草・水・炎を例に出すのが一番わかりやすいじゃないか。

草は水に強く、水は火に強くて火は草に強い！

三すくみ…ジャンケンみたいなもんだよね。

それを教えるジムがあっていい。だから特別に3人で守る！そういうこと！
だから、自信を持って胸をはりな！
ドン！

ええ、ボクら1人1人がジムリーダーの資格を持ってるんですから。
そうですとも。
なんなら、オレと勝負するかい？アロエ姉さん！
ハッハッハ！よけいな心配だったね！

そういうことです!!

それだけじゃねえ!! 来たるべきこの戦いのために、こいつを探す目的もあったんだ!!

……!!

ほのおのいし！
みずのいし。
リーフのいし。
きゃっ
きゃっ
きゃっち!!
めき
めき
めき！

思ったとおり
ニンゲン同士の
みにくい争いが
はじまっていたか。
クルディオ、
よく見ておけ。

ど、どっちが
悪いんですか？

ドドドド

強さは…

こっちのほうが
上かな？

でも…

みんな
指示に
したがって
戦って、

力は
相手より
勝ってるのに

なんで心から
楽しそうじゃない
よろこんで
ないんだろう？

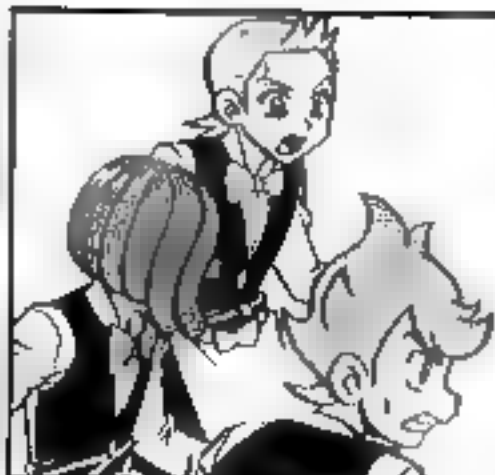
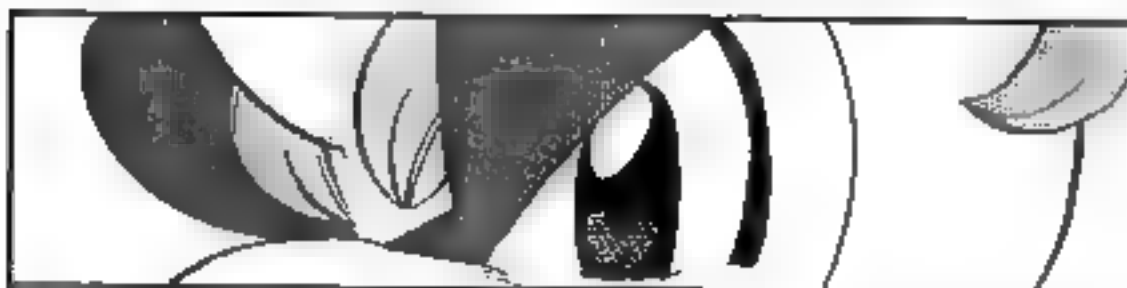
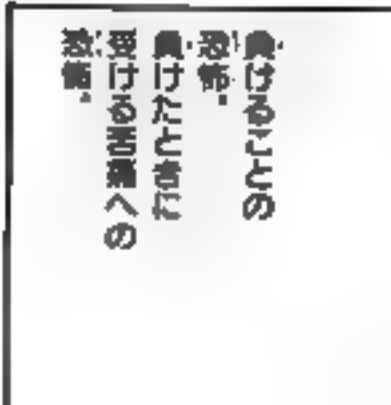
のぞまない
戦い。
のぞまない
戦い方。
負けることの
恐怖。
負けたときに
受ける苦痛への
恐怖。

こっちは
勇敢。

なかなか技も
決まらない。
…だけど、

よろこんでいる。
生き生きと
している。

表情、目、声、言葉、
ニンゲンはポケモンの
コンディションを
わかろうとし、
ポケモンはニンゲンの
意志をくもうとしている。

それだけじゃない！

これが先輩の
言っていた

そんな ニンゲンほど
身のほどをわきまえず
ポケモンの命を
ないがしろにする
罪を犯すのだ。

ってこと？

本当にニンゲンに
正と邪の区別なんて
ないんだろうか？

いや……！
ポケモンである
ぼくにとっては

たん!!

カアーァァ
なんだ!?

あのポケモンは!?
み、味方!?
おのれ!!
いつの間に援軍を…

くっ!

す、すごい！
たった1匹で…
争いをいさめました！
先輩たち…
ザッ
強力な1匹だ。
存分に痛めつけてから。
捕獲!!
敵の手にわたすな!!
守るんだ!!

また油断しましたね。
だが、"せいなるつるぎ"はよかったぜ!

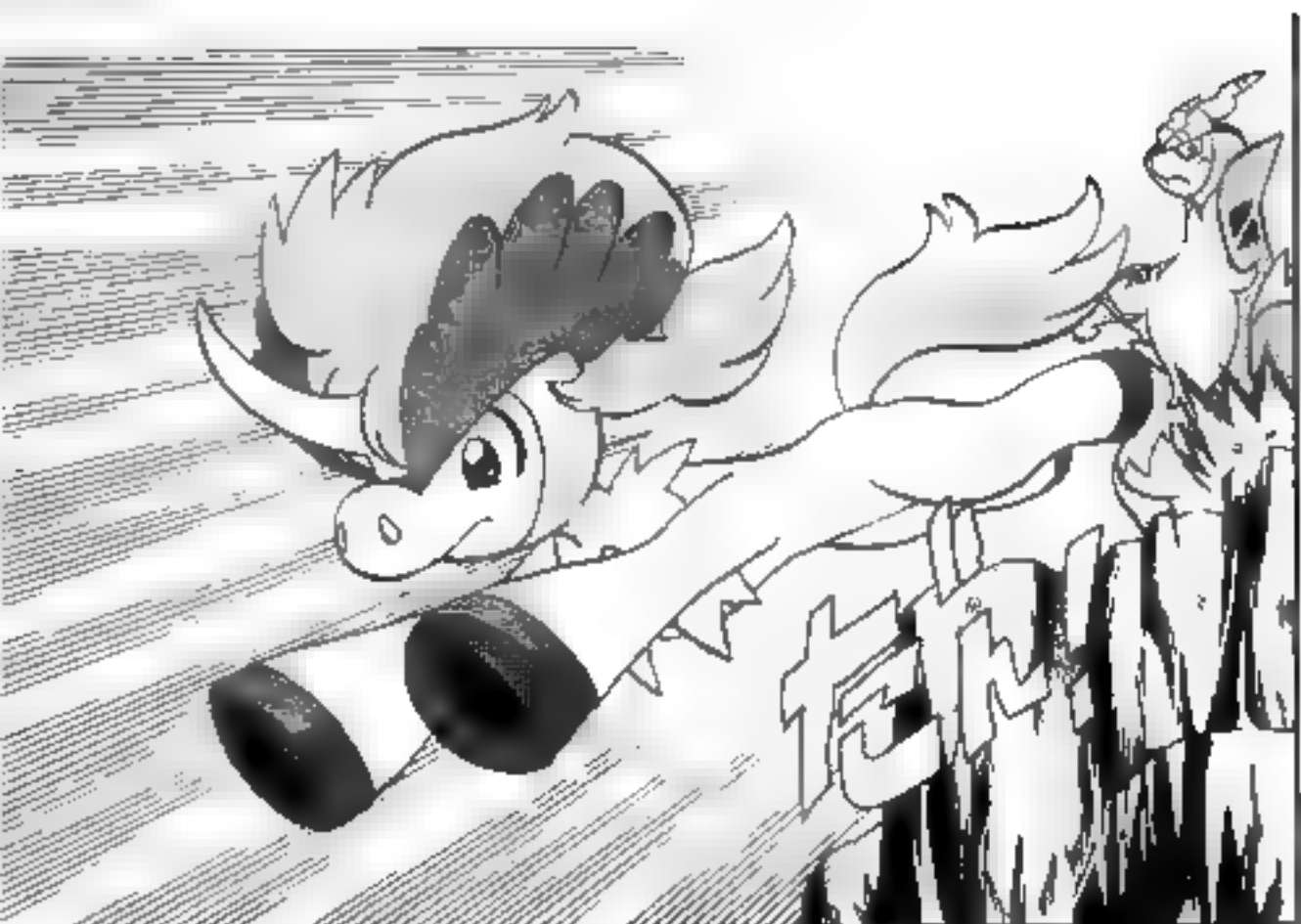
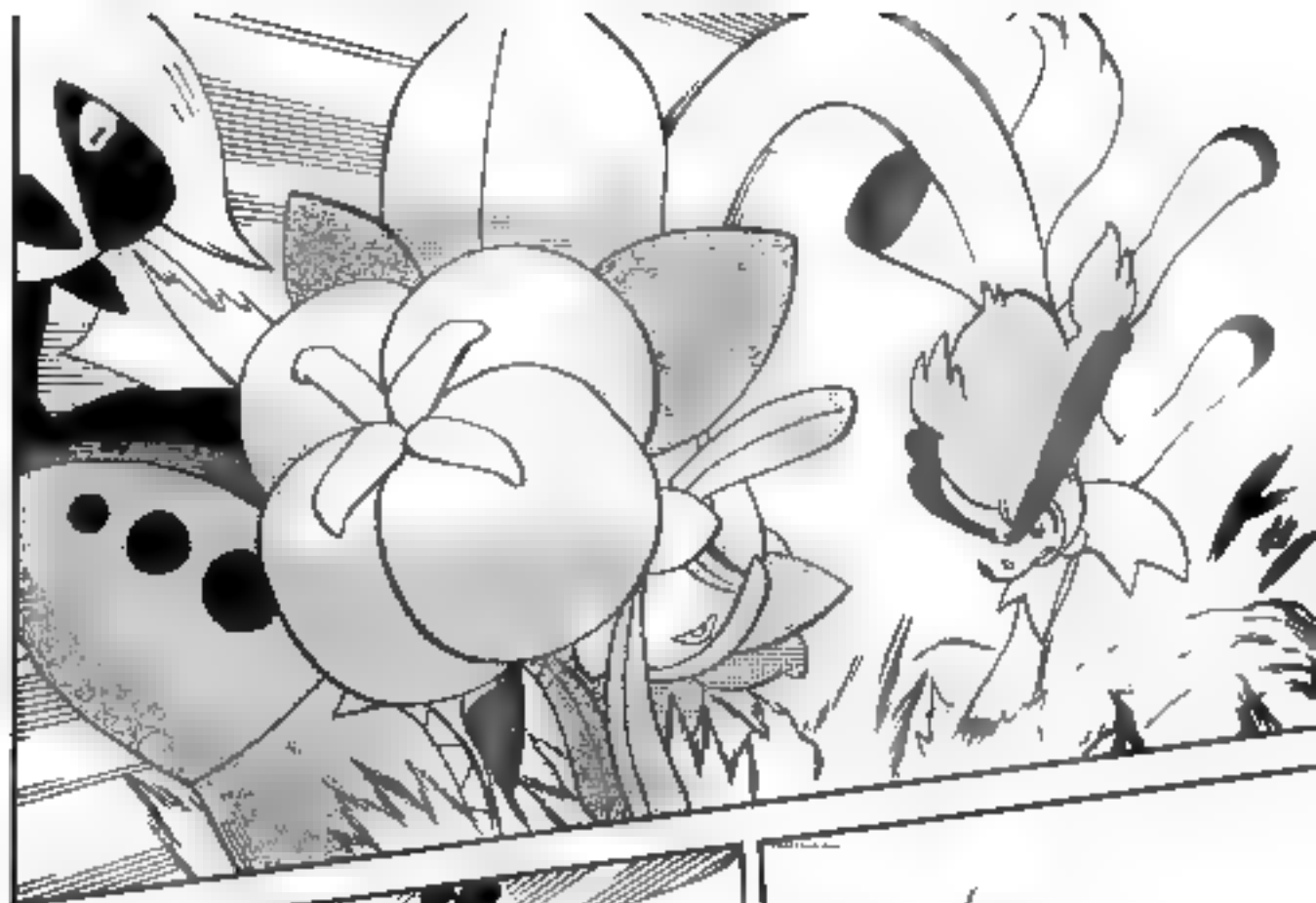
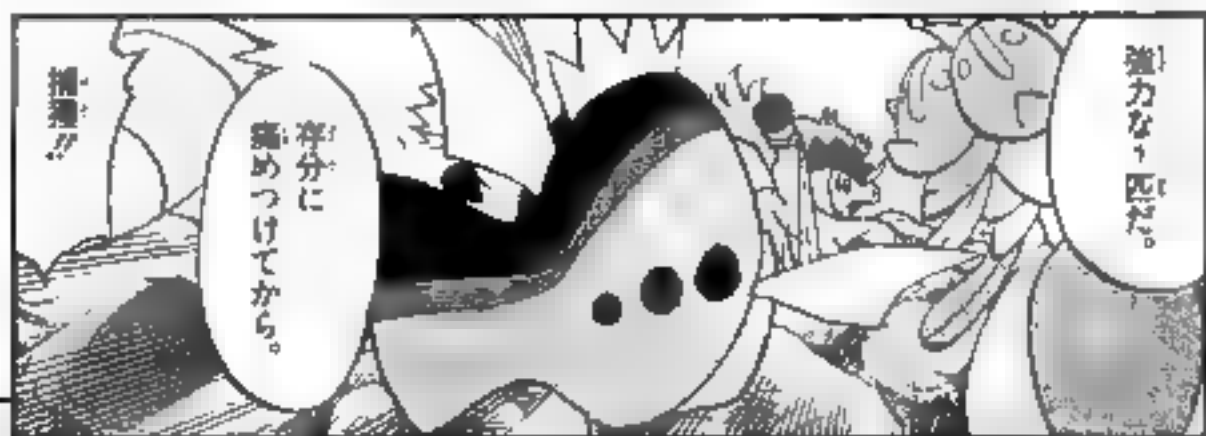
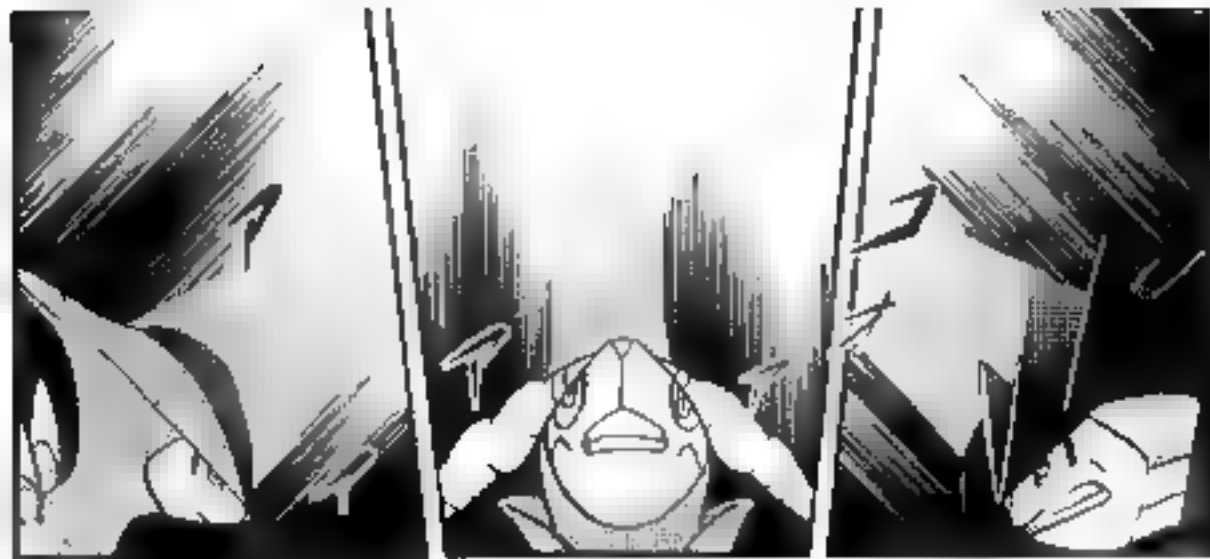
いいかクルティオ。
われらが「つるぎ」をふるうときは、はんぱな気持ちではならぬ。

すべてのものを断ち切るだけの、
「かくご」をしろ。

「かくご」…

「つるぎ」はもうひとつある。
それを手に入れるヒントが「かくご」だ!

コバルオン!とっととこいつらたおしていこうぜ!
そうですとも。

ひ、ひいて!!
でかいのが来る・・。

もしまた
この場所に
足をふみ入れた
そのときは
ニンゲンども、

お、おのれ…
あの方にトルネロスボルトロスランドロスをあずけてさえいなければ…、
すきにはさせなかったものを……。

3匹を「霊獣にもどすための研究」が完了したあかつきには、
返りうちにしてくれる…!!

そんな悠長なことを言ってる場合か?
リーグ会場では計画の最終段階に入ってるところだぞ。

ここで我らにあだなす者を野放しにしておいて、ゲーチス様になんと報告する?
まさか!?
アレを使うつもりか!?

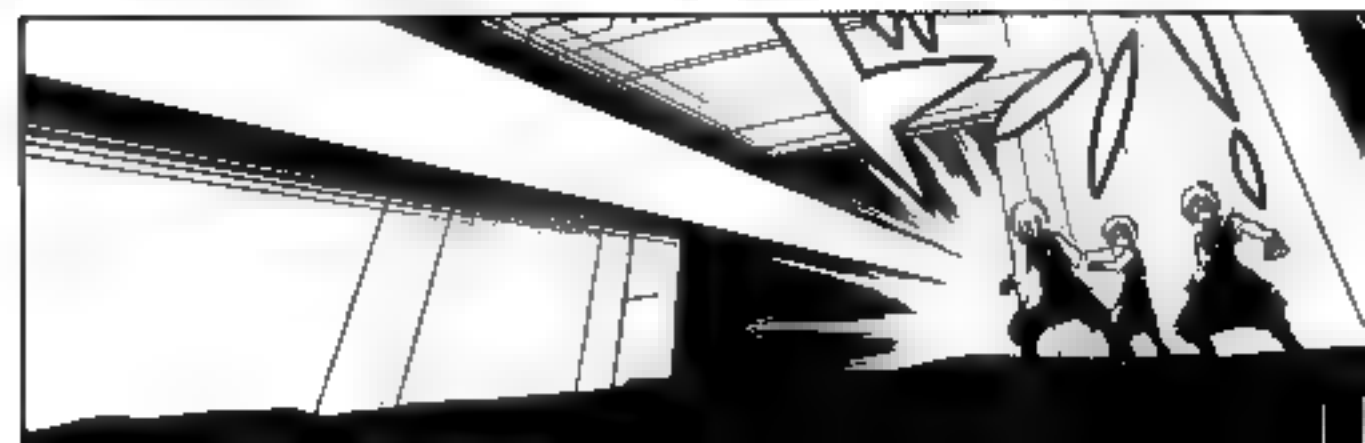
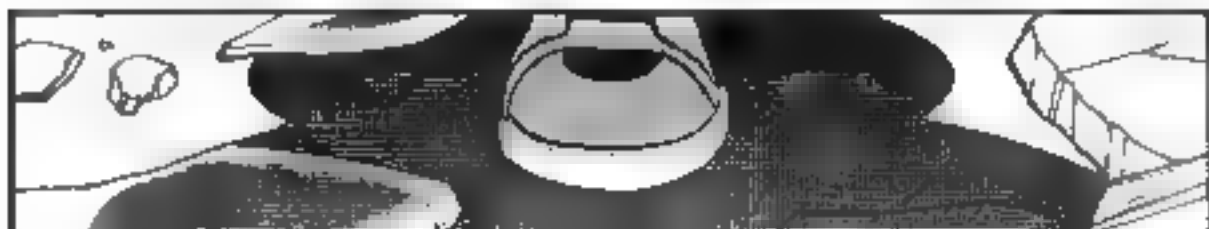
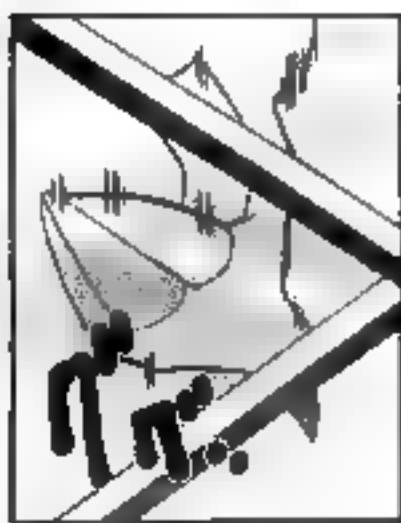
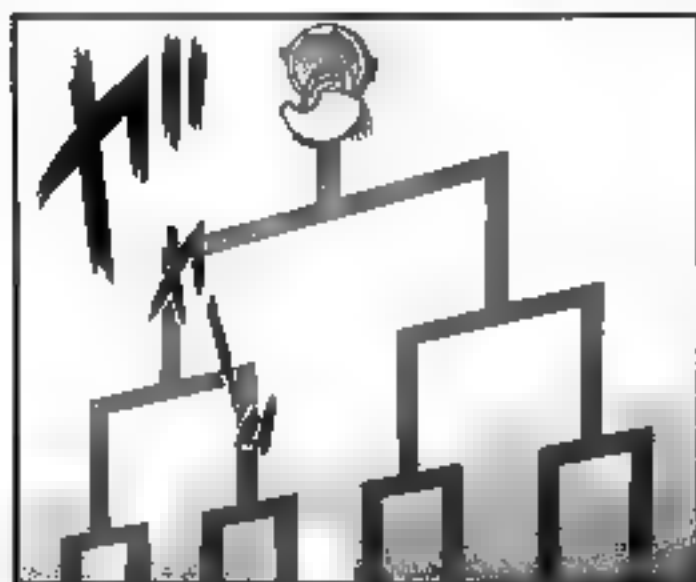
なに、ほんの一瞬のことよ。
目にもの見せてくれる…。

古代の狩人よ!!

!?

クルティオ!!

危ねえ!!

せ、先輩たち…
ゴポ
ゴポ

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#520
ゼクロムVSレシラム！
ZEKROM RESHIRAM
「居城」
きょじょう

みし
みし
ズバシャン!!

すばらしい！
おまえの叫びにこたえるように、
ライトストーンがレシラムにもどった！
グレイ…、いや、その顔。プラズマ団七賢人の1人、ヴィオか！
おもしろ半分にオレの親友の心をかき乱しやがって…！
まずは祝福しよう。
おまえの「夢」の達成をな。
ザ

ジムリーダーたちはどこにいる!?

フードマンは社長をどこへ連れていった!?

ホワイト!
聞こえるか? ホワイト!
ダメだ。
ホワイトのライブキャスター、応答がない。

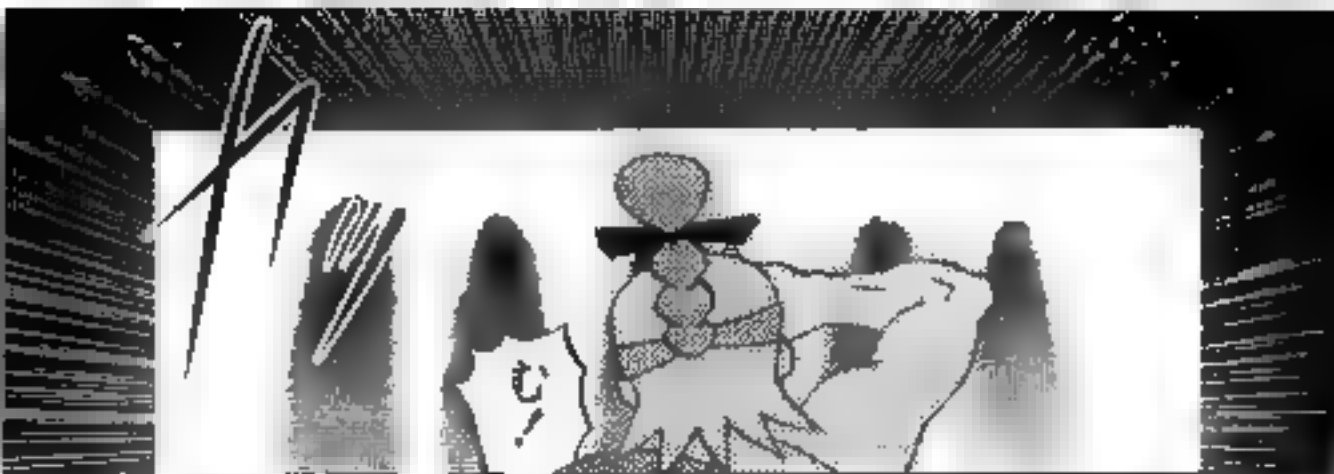
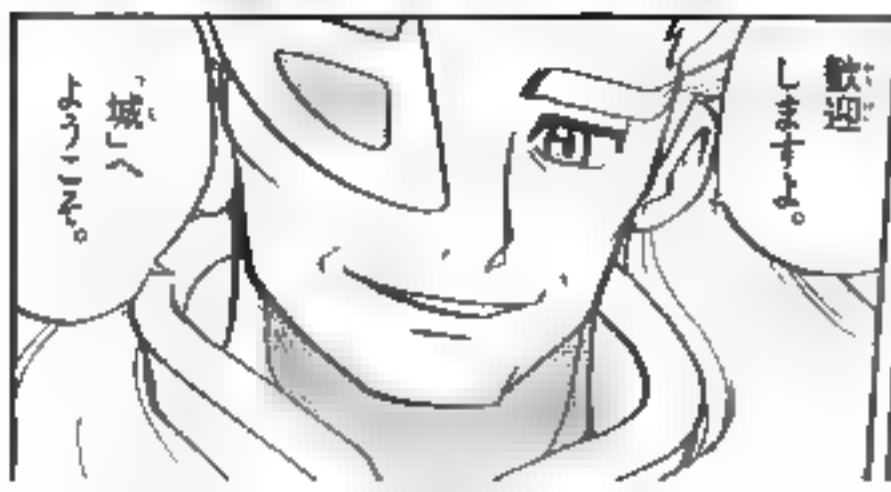
「フードマンとグレイが話しているので近づいてみる」という連絡が最後。
彼女の身になにか!?

それにしても。

これはどういうことだ。

リーグ会場で感じたわずかな鳴動をたどって、
地底にもぐってみたが。

会場すぐ下にこれは。
人工の建造物か!?

む！

おどろきましたな。
気配に気づいて調べに来る者がいるとは。
ジムリーダーはだらしのない者しかいないと思っていたが。
少しは骨のある者がいたのか！
ホッホッホ、意外意外。

プラズマ団!!
ひいい!! わたしです。キダチもおります!!
アロエの夫です〜〜〜!!
!!

いらっしゃい。ハチク。

リモコン？

どうせ仲間でも呼んだんだろ!?

ある意味正解だ。

正確にはプラズマ団の「城」ではない。
われらが王

「Nの城」。

ガ
ガ
ガ
ガ

うわあ!!
きゃあああ!!

アイリス！
観客はみな
無事か!?

わかんないよォ！
四天王の広場に
集まってもらってる
けど…
外へ誘導しなきゃ
よかった!!

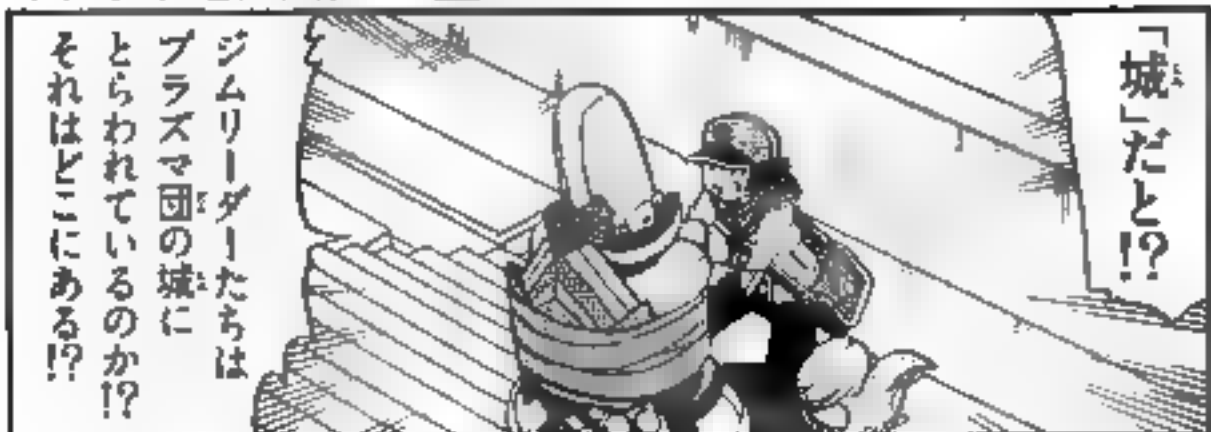
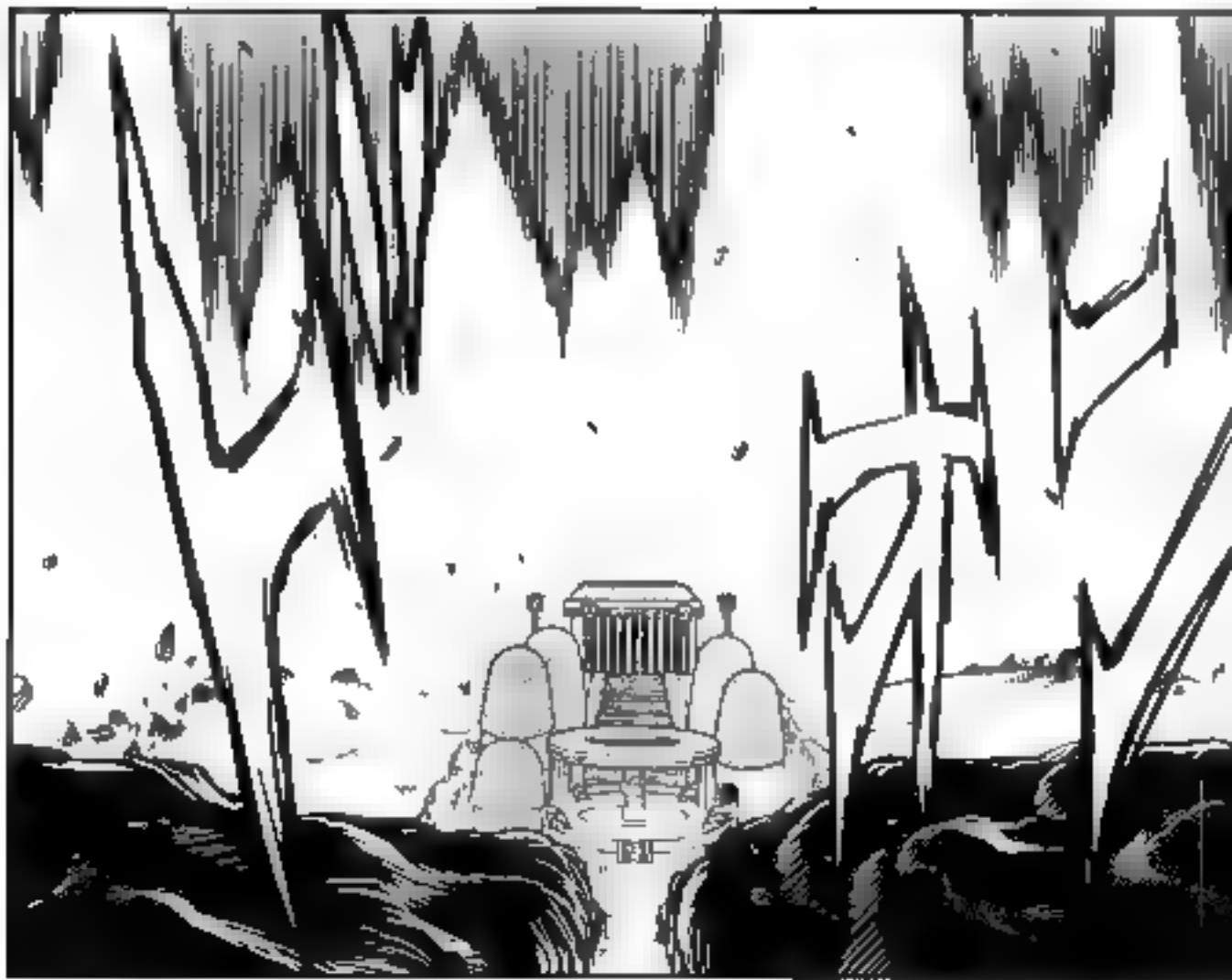
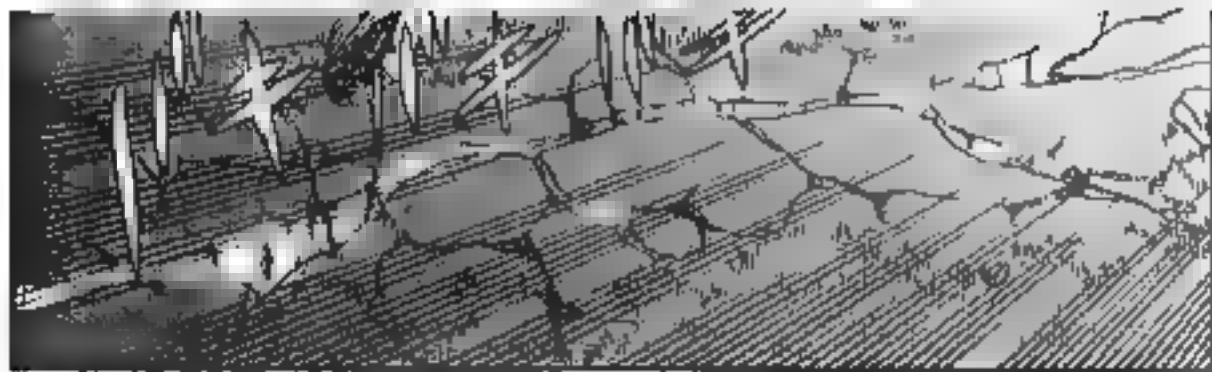
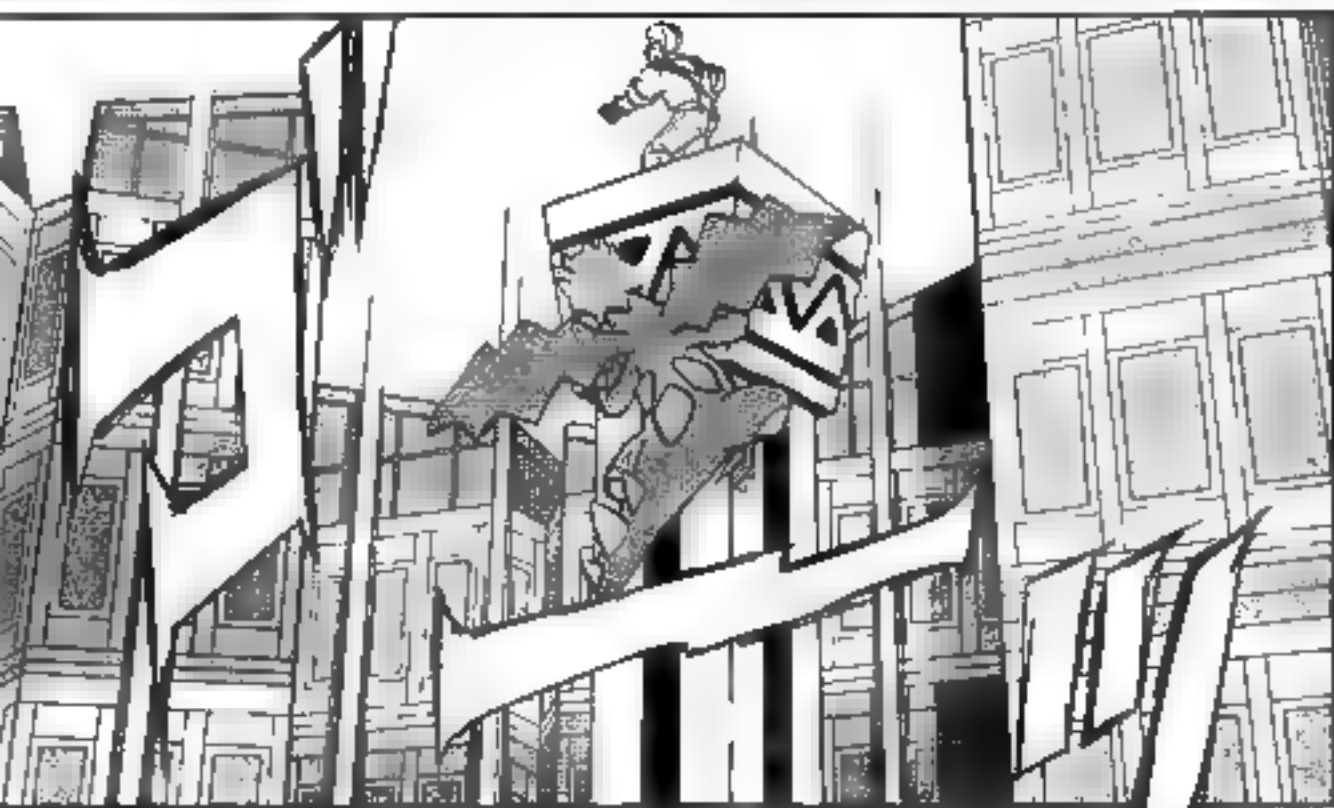
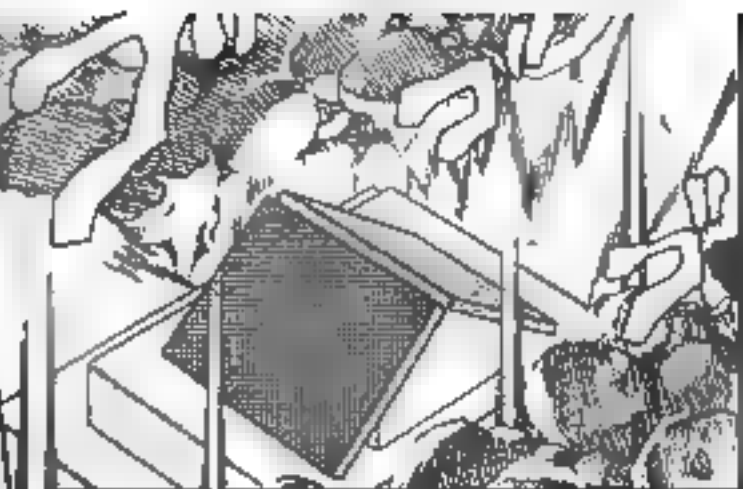
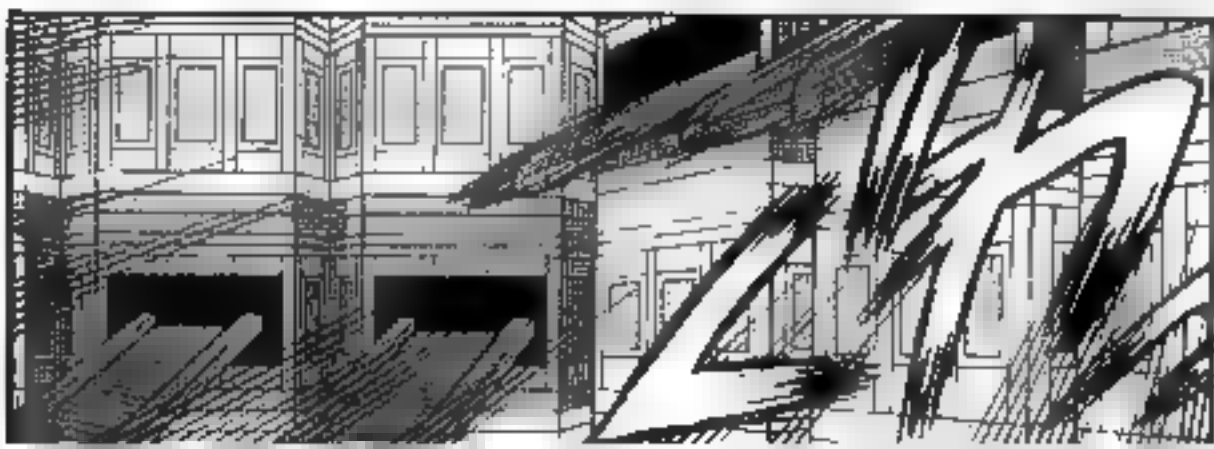
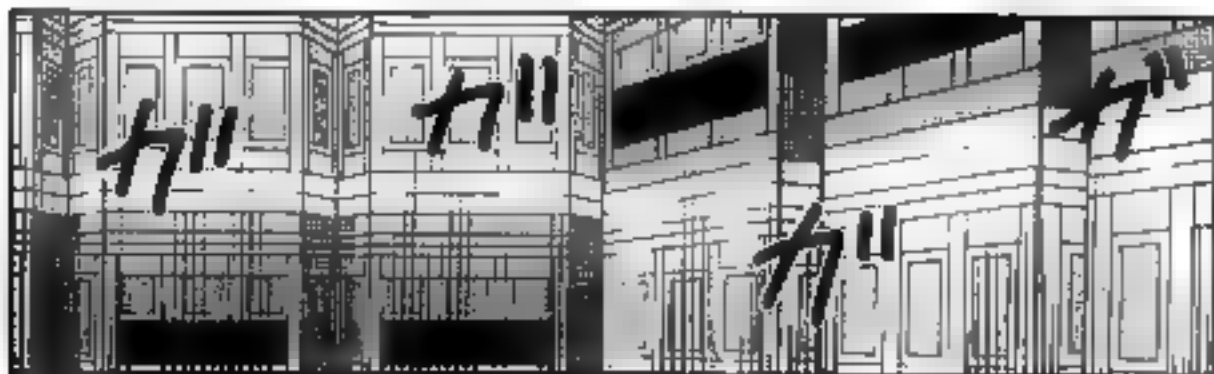
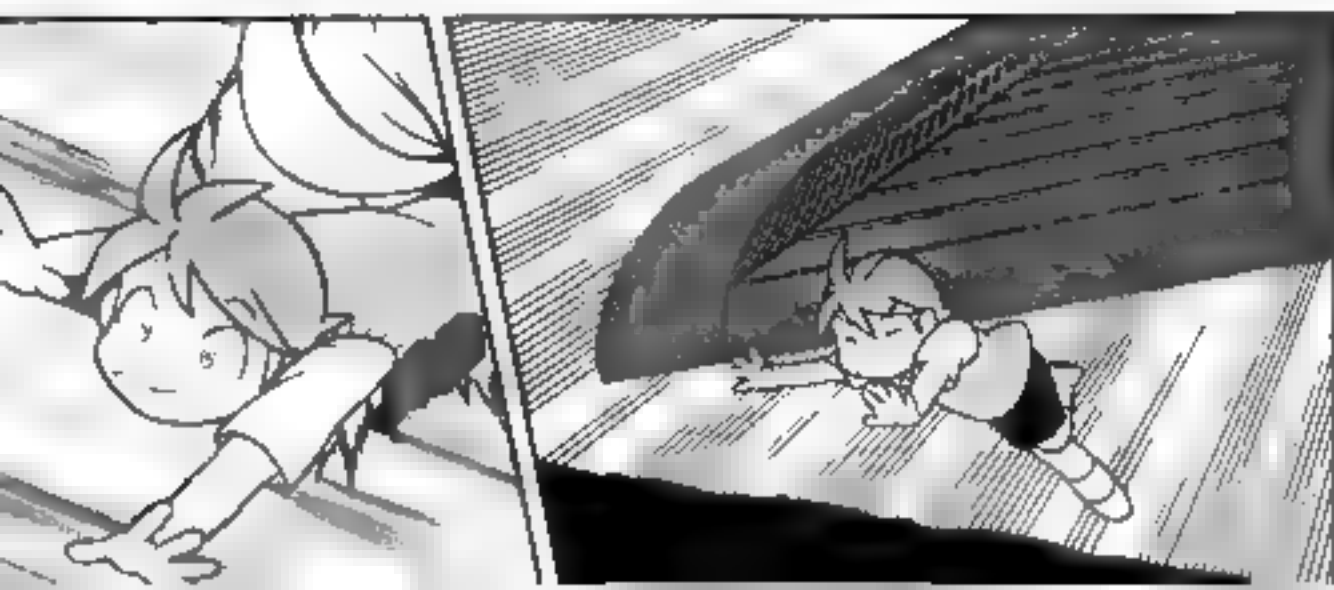
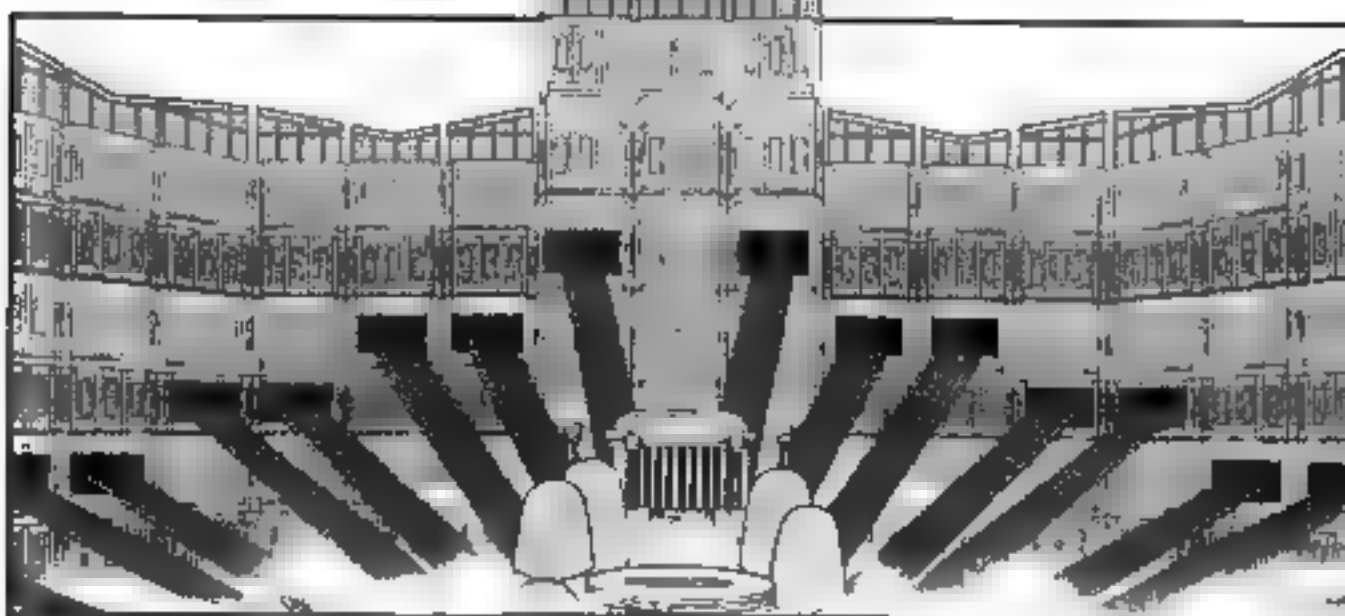
あ!!
どうした、アイリス!?

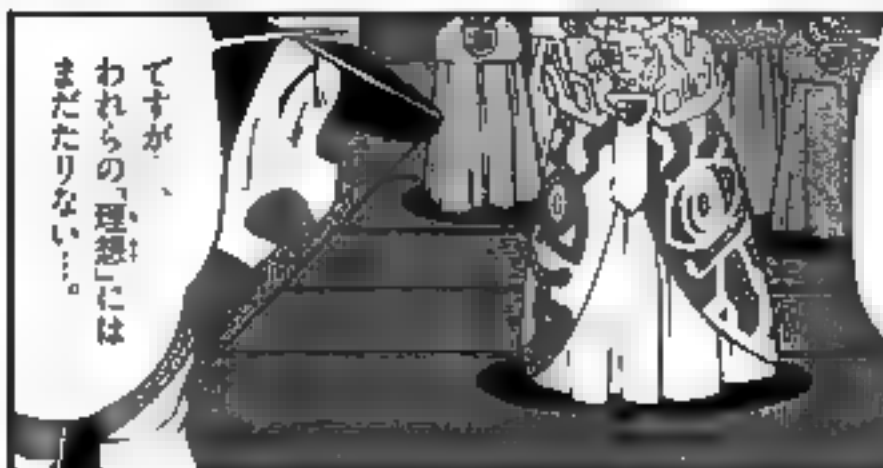
お父さんが思い描いたとおりに、
舞台がととのったようだね。

そうだね、
行こうか。

キミと正反対にしてまったく同じ存在、レシラムも猛き姿を取りもどしているよ、ゼクロム。

レシラム!?
気づいたのだな。
われらの王の
お出ましだ。
N!!
そのとおり
です。

ひー!!

キダチさん!!
ブラックくん、ひさしぶり。

ハチクさんがボクたちの居場所を見つけて助けに来てくれたんだ。でも、ボクのせいでハチクさんまで…。

チャンピオンを下し、リーグを制圧したことでわれわれプラズマ団の主張はよりはっきり民衆に提示できました。
ですが、われらの「理想」にはまだたりない…。

街の象徴であり、リーグ出場者の資格バッジを管理する、民衆のあこがれジムリーダーたちが、
とるにたらない存在だと知らしめれば、より完ぺきになる。

ごらんなさい、
あのぶざまな姿を。

こんな屈辱！ 我々の足下に敵の本拠地が埋まっていたとは‼

自分たちの「理想」を主張するには行き過ぎですね。
あたしが小説で書くならこの先の展開は大決戦です‼

ギーマは⁉

シキミ、ゴルーグを出してくれ。
パキッ

!!

きさま、フードマン!!

伝説のポケモンたち！
相手は3匹だ
3人で1匹ずつまかせる！
オレはヤツを追う！
ギーマさん！

迷っていますね。

上に行ってわが王と戦うか、さらし者のジムリーダーたちを助けようかどうか。

答えは・・・。

どちらにも行かせないです。

せっかく「真実」にたどりついたのに、
どうやらレシラムは石からもどれれば、あなたには用なしのようだ。

残りのジムリーダーは観客を守るのに必死。
チャンピオンはにげ出したまま行方不明。

四天王は伝説3匹に手いっぱい。

もう
この場には
いないのです。
プラズマ団に
対抗できる力を
持つ者は…。

だれがそんなこと
決めたんだい？

チャンピオンで
なければ、

四天王で
なければ、

ジムリーダーで
なければ、

なんの役にも
立たないって…。

みんな等しく
持ってる。
夢を
持ってる。
ポケモンを好きだ
という心を
持ってますわ。
同じように
だれでも
持ってんだよ！

なんだ？
こやつらは!?

のシンノスケ！
ベーカリーのヨシエ！
ドクターのテルユキ！
暴走族のヒデアキ！！
ミネズミショーのショーコ！！
ブルジョワール家トリッシュ！！
山男のナツミと申す！！
ジムリーダーはわしらが助ける！！

ゼクロム
レシラム
ターボブレイズ
ブオウ
ウォー
ちからずく
チュラ
ゴーラ
ハードロック
ムシャ
ブラック
七賢人
フードマン
ホワイト

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#521
ゼクロムVSレシラムⅡ
ZEKROM RESHIRAM
「真実(しんじつ)」

行くぞ!!
だーっ
ジムリーダーたちは
わしたちで助ける!!
みんな…!!
なにやっとる、
小僧!!
あんたは自分の
やるべきことを
やりな!

そうだ、少年!!
おまえはおまえの戦う相手のもとへ向かえ!!

オレのやるべきこと…。
オレの戦う相手…。

ウォー!!
上へ連れてってくれ!!

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

ザワ
2匹のドラゴンが戦おうとしている……!!
ザワ
イッシュ建国の伝説と同じだ!

そうです!!
今日はプラズマ団による記念すべき「新・建国の日」なのです!!

黒きドラゴンといらっしゃるのが……

わたしたちプラズマ団の「王」!「理想」の英雄なのです!!

ゴクリ
どっちが勝つと思う?
こんなときになに言ってんだよ!

あたしはレシラムに勝ってほしい。

いや!ゼクロムだと思う!
わたしゃレシラムに賭ける!!

ゼクロムだ!!
オオオ
レシラムよ!!
ゼクロム!!
レシラム!!
ゼクロム!!
レシラム!!

なんとまあ…。
ゼクロム!!
「理想」と「真実」の戦いも民にとっては、
レシラム!!
見世物にすぎないのか。
ゼクロム!!
なげかわしい。
レシラム!!
まったく…。

民とはそんなものです。だからワタクシたちで正しく導かねばならないのです。

そのためには、かれらのように民を惑わす者どもに、
消えていただかなくては…。

ゲーチス様…。

命令違反の単独行動については不問に付しましょう。
あなたも戦ってください。

くう…！
な、なにくそ。相手も7人、こっちも7人！数だけはいっしょだ!!

その通りじゃ!!

クリアスモッグ!!

こしゃくな、たたりめ!!

オレだって、

一対一で
行かねえとな‼

ゴ"

や、やべぇ。

ついに
この時が来た!!

ゴ
ゴ
Nと、
向きあってるなんてな！
おまけに、
う。
２匹をとりまく気の力みてえなもんで、
身も心もつぶされそうだ。

気をつけることだね。
トモダチ…レシラムの「声」を聞きとれないと、
キミは心身ともに、

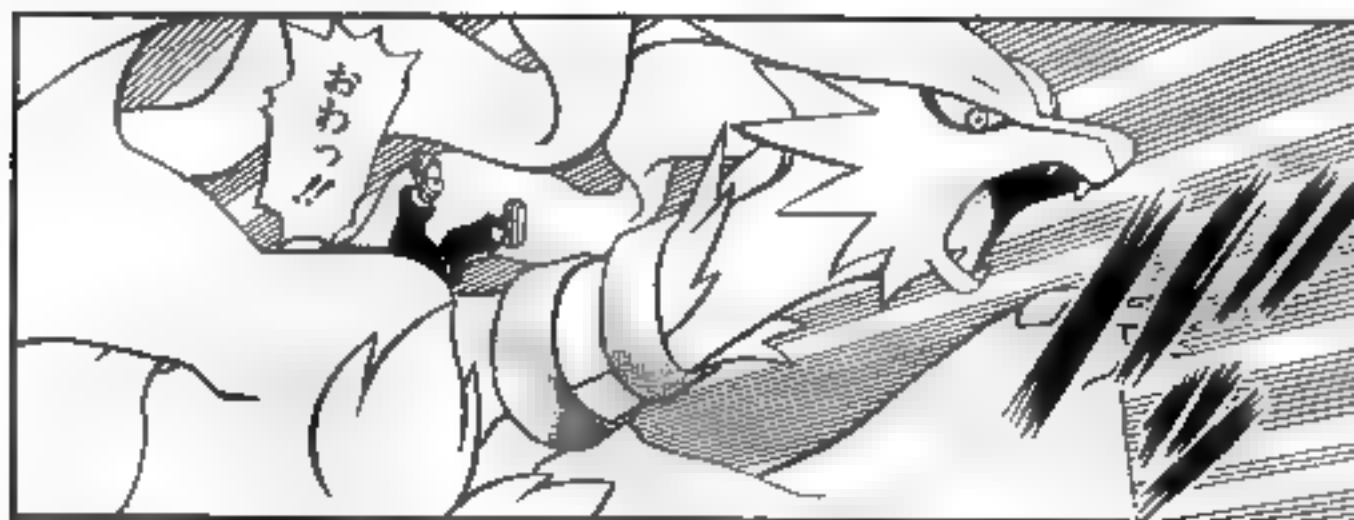
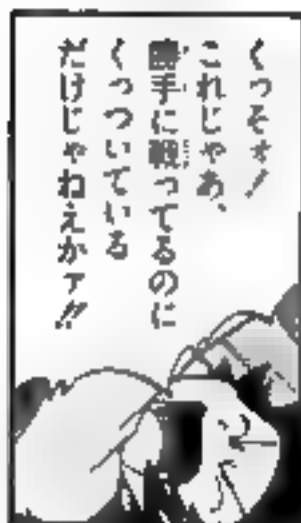
ペシャンコになっちゃうよ。

おわっ!!

げほげほっ!!
直撃したぞ!! 決まったか!?

こんなものか。

やはり、

レシラムの「声」が
聞こえてないみたいだね。

レシラムの力を
いかしきれていない
ようだ!
わたしなら
助言できるかも
しれないのに…
空を飛ぶ手段があれば…!
このわたしが!!
ならば、力を
お貸ししましょう。
インターナショナル
ポリス・アームズNo.13!
ミミックバルーンタイプF!!
おお!!
国際警察の方
だったんですか!?
な…
なぜバレた!?
わたしは
ハンサムロウ
ただのリーグ
出場者ですよ。
いや しかし…
乗るの
ですか?
乗らないの
ですか?

ま、
待ってけれ〜〜〜!!
オラも行くだす!!
キミはベタシ選手!
オラは、オラをたおしたチェレンをたおしたブラックを応援したいんだす!!
せ、せまい!
ブラックく〜ん!!今、行くぞー—っ!!
なあ、レシラム。
前に「イッシュ建国の伝説」ってヤツを聞いたぜ。

2人の双子の王子が強大なドラゴンを力を合わせて、
このイッシュを建国したって。

でもそのあと双子の王子の求めるものが分かれたから。
伝説のドラゴンも2匹に分かれて、
それぞれの王子についたって話だよな!

レシラム。おまえは、
「真実」を求める弟王子についた……。

とすればオレは伝説の王子以来おまえに乗った2人目のトレーナーってことだ。

その弟王子もこんなふうに苦しんだのか?
どんなふうに戦ったんだ?

……。
…おまえ、なぜオレを選んでくれた?

ブラックくん!!
助太刀に来たぞ!!
な、なんだ!?
いけ！モノズ!!
ダイケンキ!!
グレッグル!!

なんという
かたさ!!

むは!!

気持ちはありがてえが、
そのくらいの攻撃が効くんならとっくに勝負がついてるだろうよ。

うわあああ!!

ああ!!
くうっ!!

おっつっ!!

オオオオ

どうした!?
レシラム!!

ブラックくん!
図鑑をこっちへ!!

な…

なんだって
こんな時に…?

こんな時だからだ!
さ、早く!!

彼らの特徴や生態を知ることがレシラムの心を知る一助になれば……。
よし！これで完了だ。

2匹はドラゴンタイプ。
しかも竜の体を持った上にそれぞれ別べつの攻撃属性をそなえている！

ゼクロムは「でんき」、
レシラムは「ほのお」だ！

ゼクロムの尾は、タービン式の発電機のような形をしている。
実際にそれを使って、強大な電気エネルギーを発生させているようだ。

一方のレシラムはやはり尾を炉のように使って、
熱量を高めているようだ。

でも、すでに
ゆるぎない「理想」を
求めていたNに
共鳴したゼクロムが
早く石から
もどったのに対し

オレはまだ
オレの「真実」が
わかってなかった。

そんな中でレシラムは、
オレが「真実」に
たどりつくまで
石のまま
持っていてくれた。

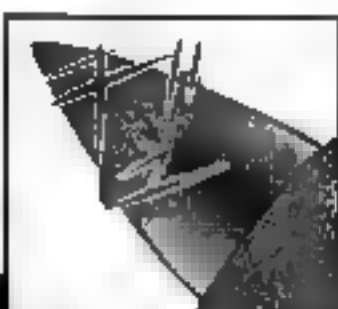
オレは、
「どんなふうに戦うか」
「なぜ選ばれたか」に
なやむ必要なんて
なかったんだ！

おまえにとっても この戦いは 負けるわけには いかない、 宿命の戦い!!

だったら、同じ気持ちで 全力でゼクロムに 立ち向かうだけだ!!

レシラムの「声」が聞こえたのか？
ブラック……キミに……!!

そうか。やはりキミは、
まぎれもなくレシラムが認めた、

「真実」の、
英雄!!

ゼクロムが
尾のタービンを
回しはじめた!!
強力な電気が
発生し、
尾の内部までもが
青く発光する状態、
オーバードライブ!!

……ク……
"クロスサンダー"。
オーバードライブ状態の
ゼクロムが放つ
ゼクロムだけの
固有技……。

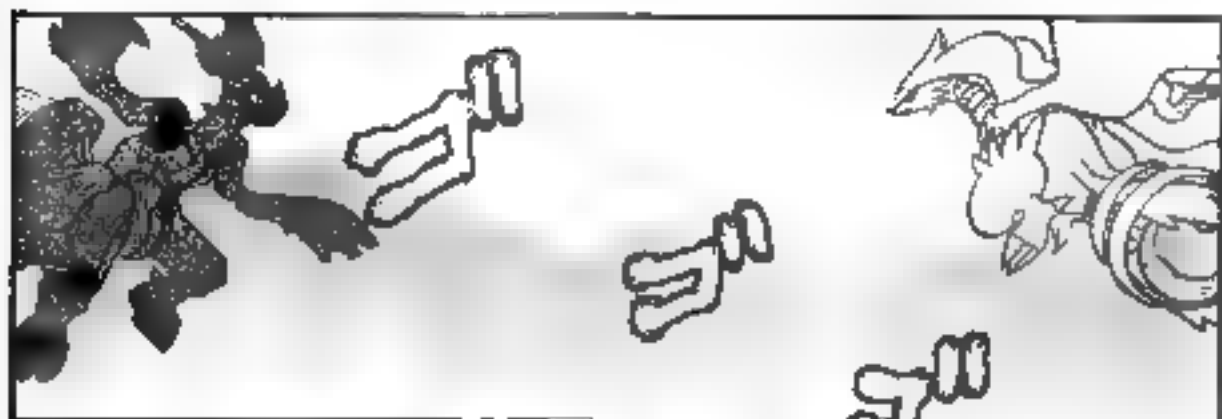
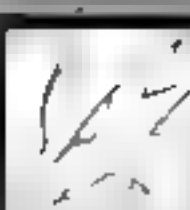
一瞬で雷雲を
作って……
そっから
とんでもない
電撃を
たたき落とし
やがった……。

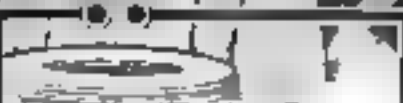
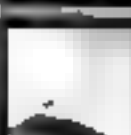
レシラム……。

もう一発
こいつをくらやぁ
多分ギリギリで
勝負がついちまう。

だが
それはある意味
ゼクロムに
とっても同じ
ことだ。

おまえも今、
オーバードライブ
状態だ。
そして
"クロスサンダー"に
匹敵する技
"クロスフレイム"を
撃ち出すことが
できる。

あとに技を
出した方が
威力がますって
技だ!!
だがNは
言葉で指示を
出さない。
いつ撃ってくるか
わからねえ。
だから
その一発を撃つ
タイミングは、

ゴ
ゴ
ゴ

来た、
今だ!!

ゼクロム
テラボルテージ
ブラック
レシラム
ターボブレイズ
ブオウ
もうか
ウォー
ちからずく
チュラ
ゴーラ
ハードロック
ムシャ
Lv.57
七賢人
フードマン
テレポートで連れ去られ行方不明。
ホワイト

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#522
ゼクロムVSレシラムⅢ
ZEKROM
RESHIRAM
「理想(りそう)」

おおっ!!

やった!!
よろこぶのはまだ早い!
ともあれ、レシラムを完全に乗りこなして、まあ・・!

彼の修行に立ち会った者として、誇らしいかぎりです。
ああ!

さあ!あたしたちも、あと一歩だ!!
ドドド

ジムリーダーたちまで あと少しだよ！
みんな、がんばって!!

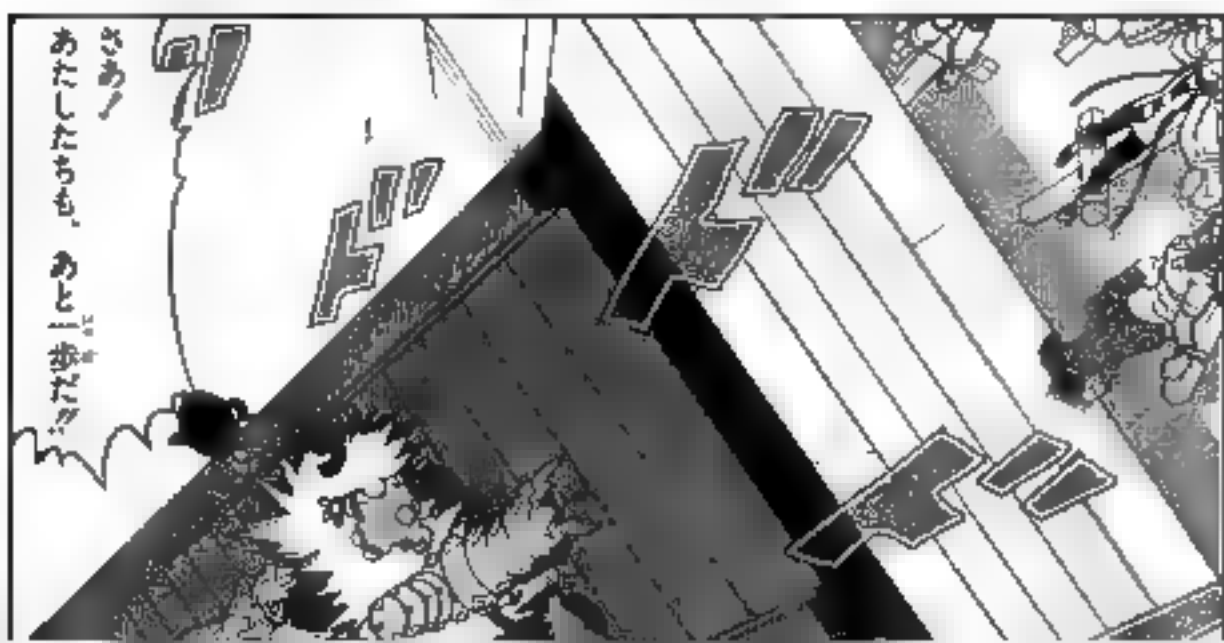
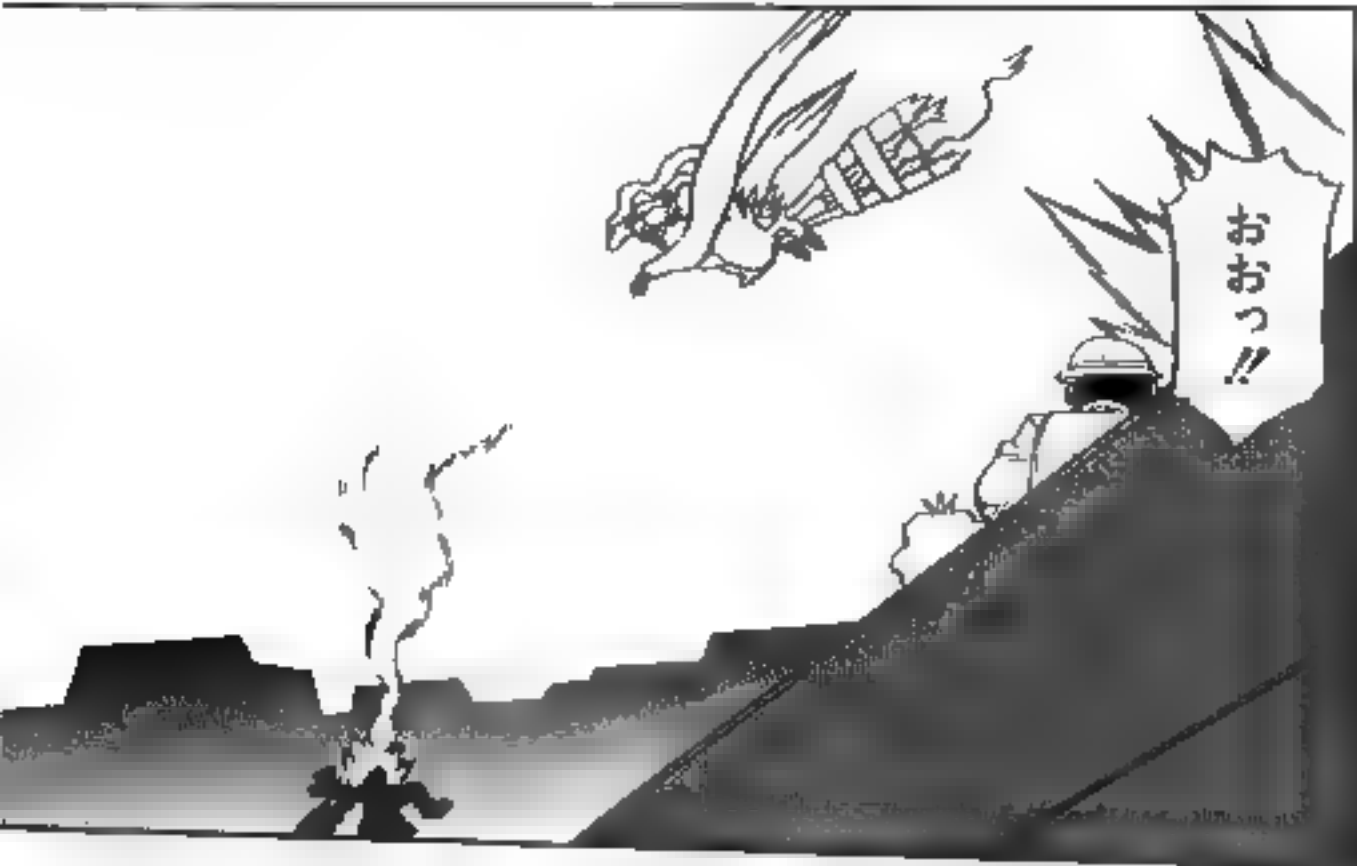
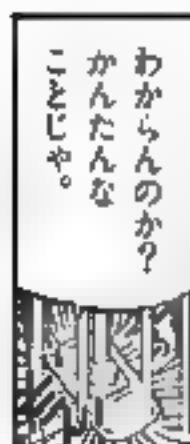
しぶといですな。
なにがかれらを こうまで つき動かすのか。

わからんのか？ かんたんな ことじゃ。

あたしたちは みんな、
ポケモンとともに 生きていきたいからじゃ。

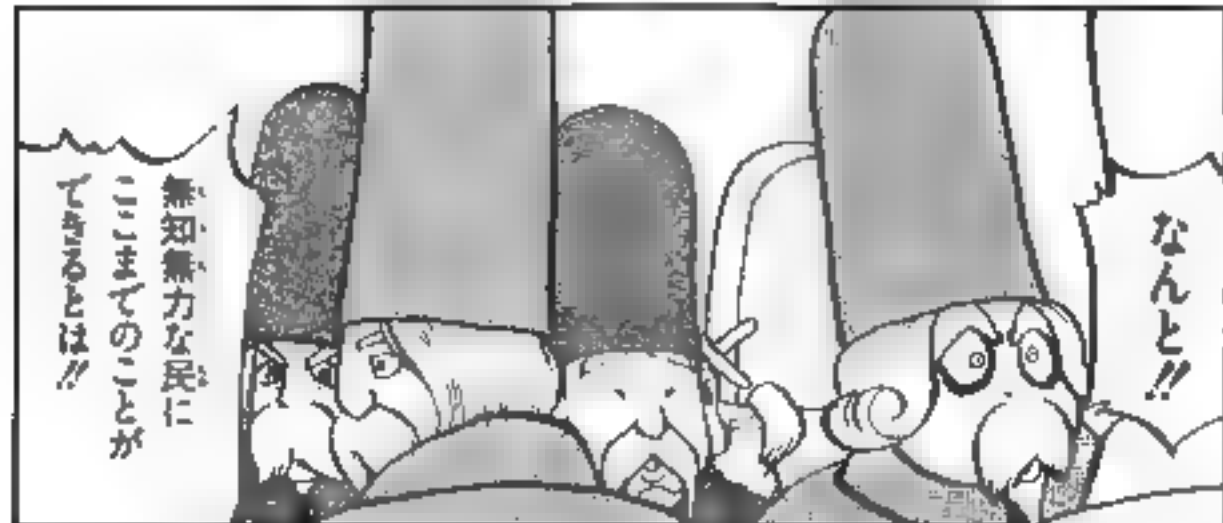
わしは今大会に 出場しようとバッジを 集めていたがな。
今年もついに 集めきれなかったよ。

だが、せめて 観戦だけでも と やってきた。
ところが この騒動だ!!

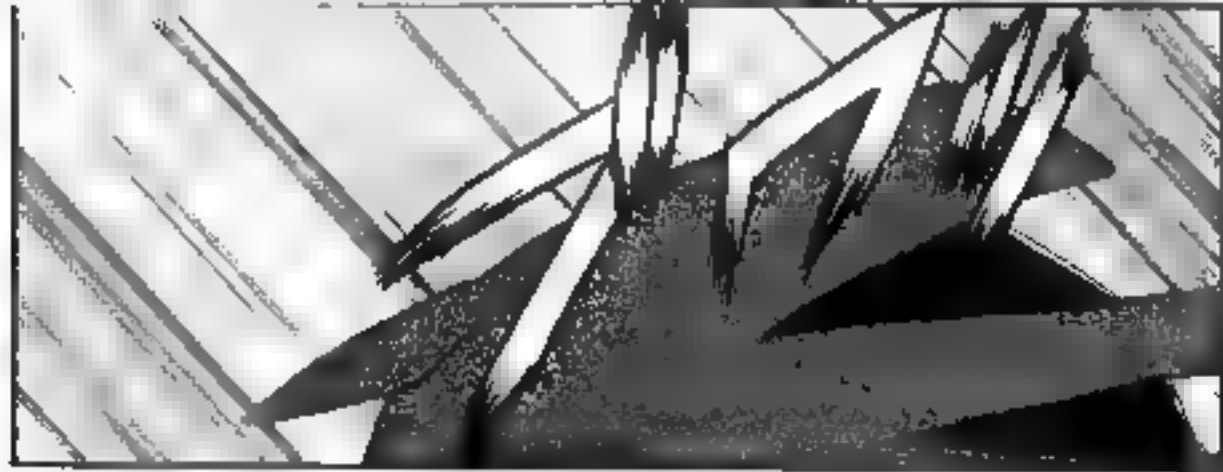
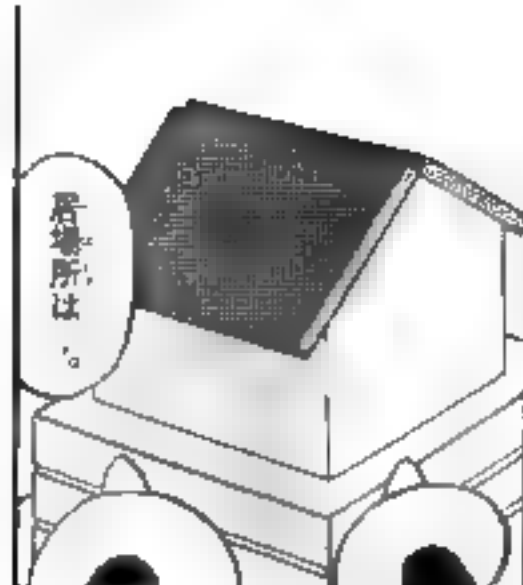
わしはもう二度と 夢をあきらめない！ 今年ダメでも来年、 来年ダメでもさ来年、 またチャレンジする!!
そのためには ジムリーダーが いないと困る!! リーグ開催 されないのも困る!!

ポケモンたちもいっしょに望んどる「夢」だ!!
「ポケモン解放」なぞされたら、わしらは困るのだ!!

オレたちもな!!

やるわよ、姫!!
OKですわ！ショーコ!!
おさきにどうぞ!!
はじけるひのこ!!

今だわッ
たったかたー

なんでもいいぜ!!

こちとら、長い間
閉じ込められてて
たまってたんだ!!

バーッと
開放してやるぜ!!

ドリルライナー!!!

「むしのていこう」!!

「ワイルドボルト」!!

「ぼうふう」!!

待てっ!!
どわっ!!
な!
が

いててて。
レンブさん！
なにやってる、
ブラック!!
そっちこそ！

戦っている最中に、
ボルトロス、
トルネロス、
ラントロスの姿が
消えたので
追っていたのだ!!

ムンナ、
ムシャーナは
無事あなたのもとへ
もどりましたか？
え？

四天王戦の準備に
行こうとしてたら、
会場のまわりを
フラフラしてたんです。
あなたのムンナで
あることはすぐ
わかりました。
帰りづらそうに
していたので、
遠慮せず帰るよう
伝えたのです。

あの1匹、
一度あなたのもとを
去ったようですが、、
それはもっと強い力、
具体的には進化すべき
必要を感じての
ことだったようです。

それで つきのいしも
渡しておきました。
進化のために！

そうだった
のか！

……。

…ここは？

目がさめたようですね。

ホワイトさん。

わたしはヘレナ。
わたしはバーベナ。
ここはNの部屋です。

Nの部屋って言いましたね？ ここ…。
あなたたちは？
わたしたちはNの身のまわりの世話をしていました。

Nは…人間からひどい仕打ちを受け身も心も傷ついたポケモンたちといっしょに育ちました。
この部屋から一歩も出ることなく。

!?

Nは幼い頃から、「ポケモンたちの声が聞こえる」という特別な力を持っていました。
その特別さゆえか、身寄りもなく、気味悪がられ、バケモノと呼ばれ、うとんじられていました。

そのNを引きとったのが…
ゲーチス。

Nをわが子として、
引きとったのです。

何年も何年も…、
虐待された
ポケモンたちの
声だけを聞かされ続けた…。

ポケモンたちを
にがすとき、Nは
そのポカブに…。

バトルの道を
行くのか、
芸能の道を
行くのか。
最後は自分で
選んでいいんだ、と

それから、
みんな…

いっしょにいたい
人間がいれば、
その人間といっしょに
いればいいんだ。

いっしょにいたい
人間がいれば、
いっしょに
いればいい…。

あのNが、
そんなことを？

ゲーチスの
教育により、
Nの心は
人間に対する
強固な不信感と
敵がい心、
そして、
「ポケモンの解放」
という使命感
だけになりました。

そこまで
完成したNならば、
たとえ現実を見ても
その心はゆるがない。
戴冠式を終え、
王となったNは
「理想」を求めて
外の世界に出されました。

そこで
Nは、
「真実」を
知ることになる…。

解けない数式…
いいえ、じつはかんたんに解ける数式だった。

でも、その解はのぞましくない解。認めたくない解。
解きたくない数式。

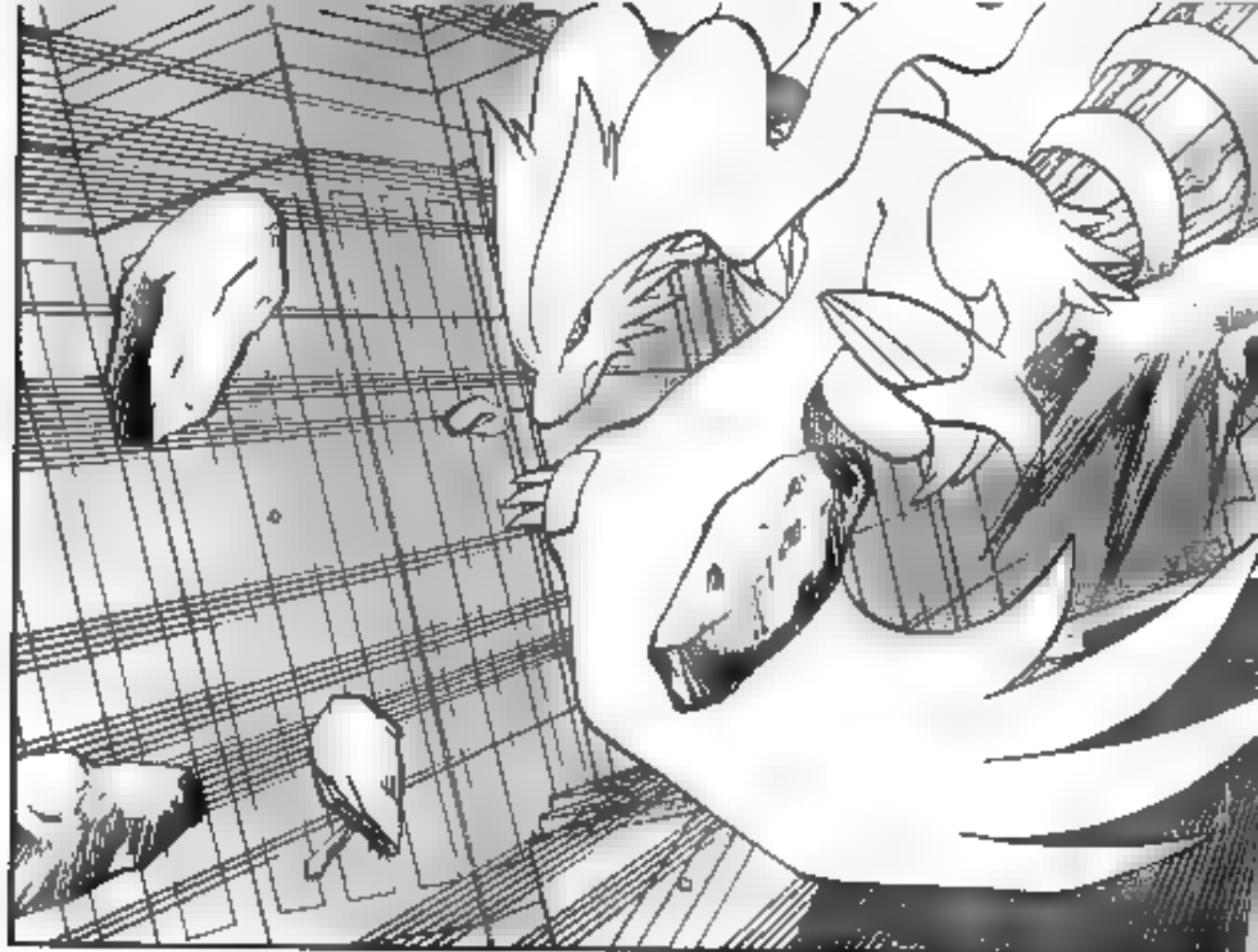
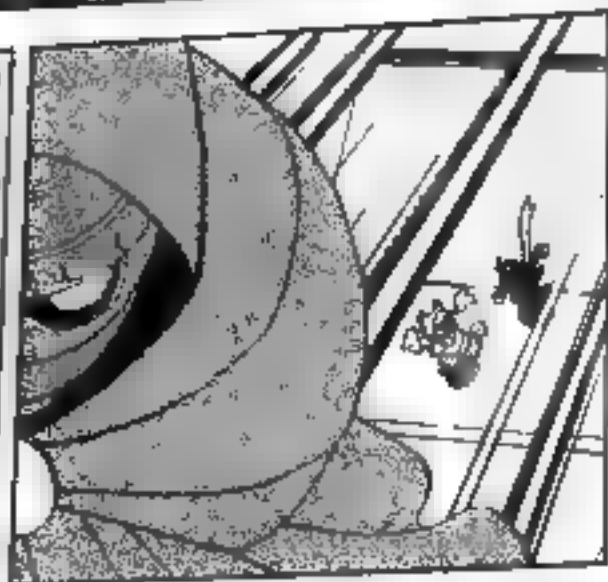
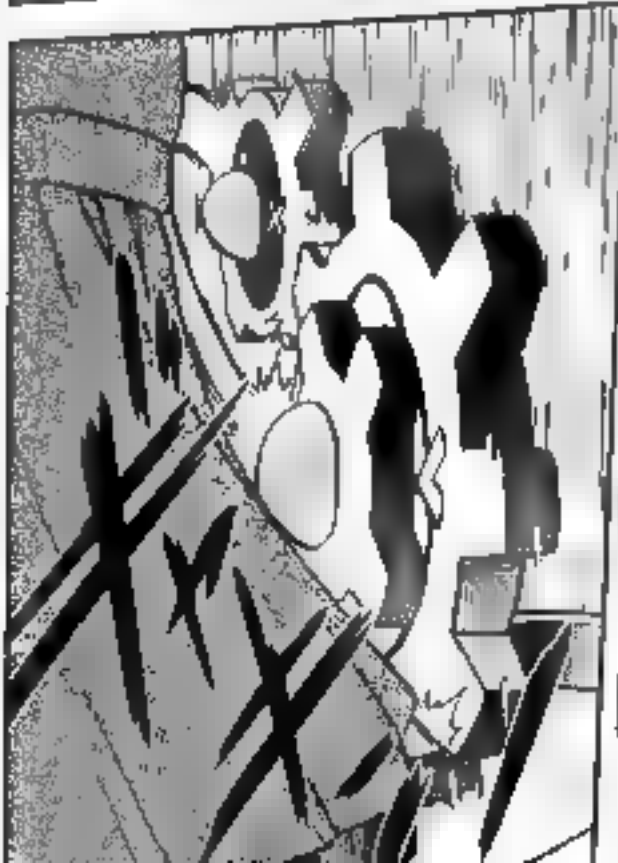
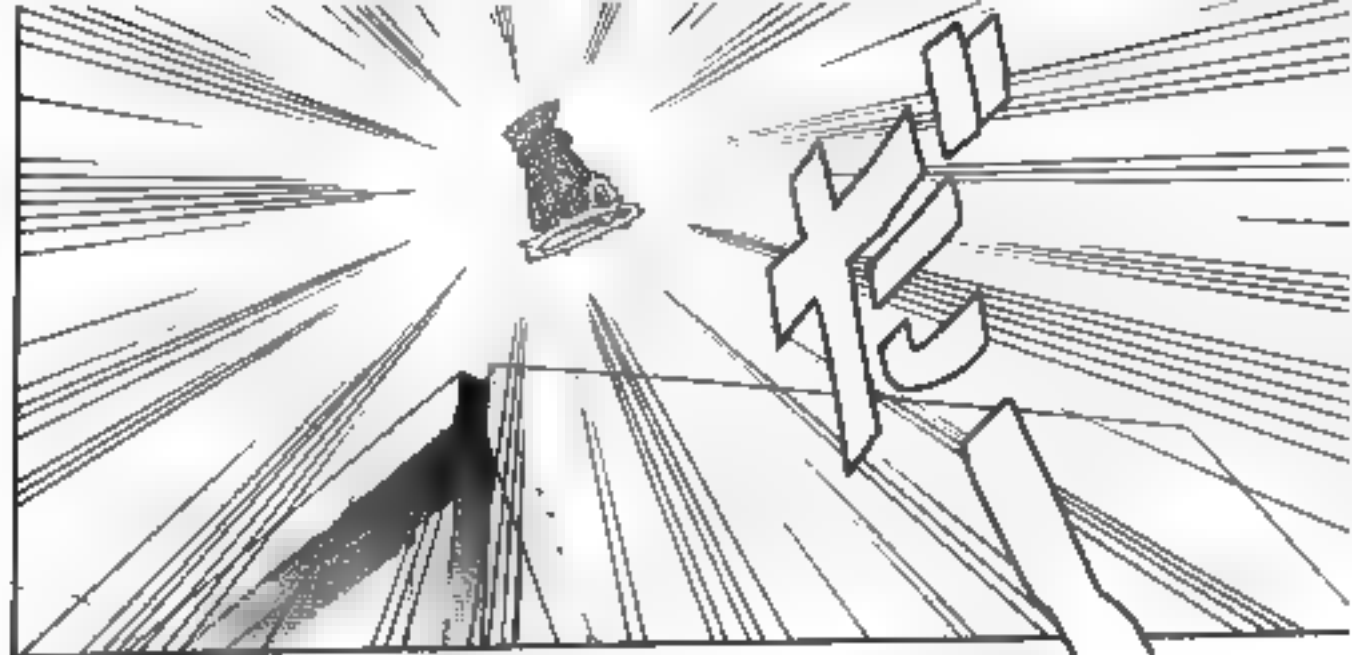
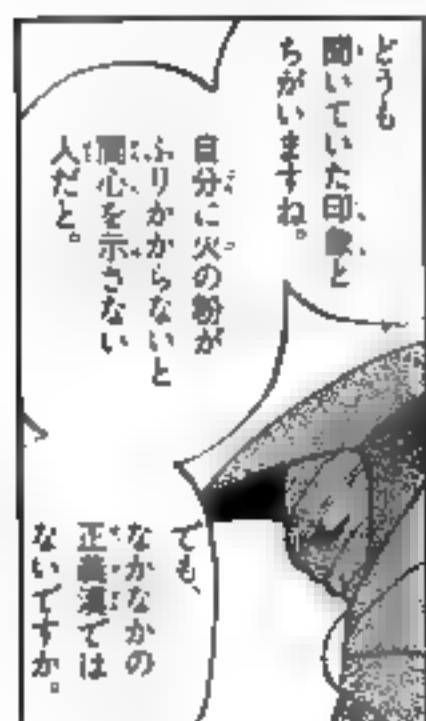
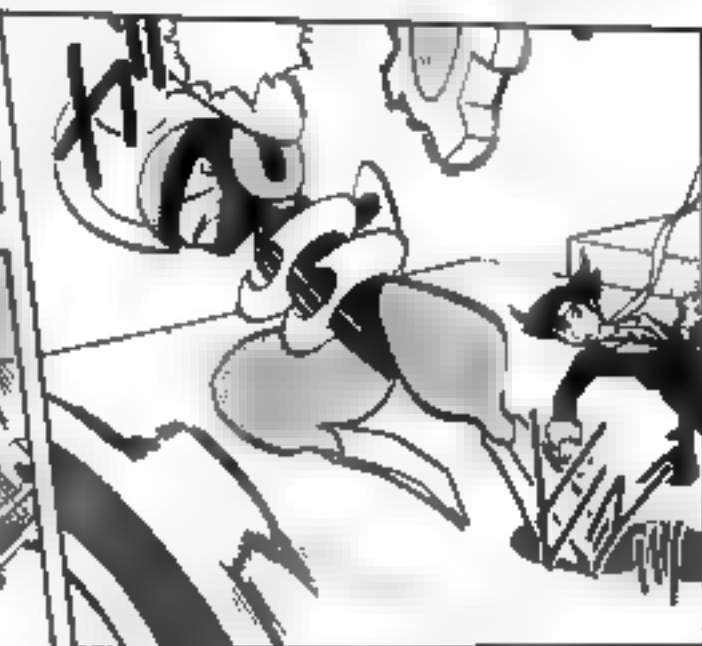
この人間は自分の気持ちをよくわかってくれている。
自分はこの人間とずっといっしょにいたい。同じ道を歩いていきたい。

ドド
ドド

あら!? 七賢人は?
むっ!?

いませんわ!!
おのれ! 一般団員に まぎれてにげたか!!

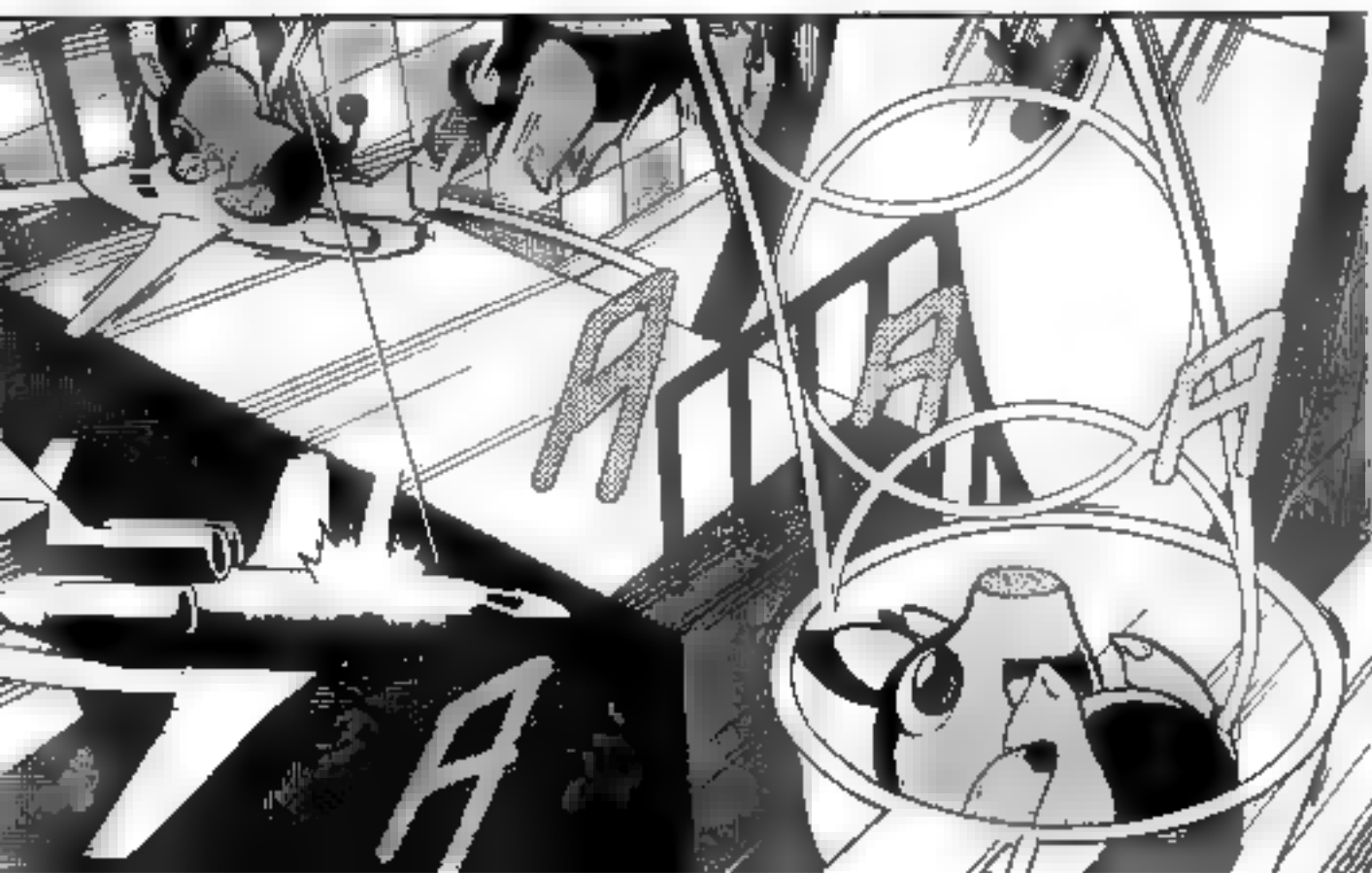
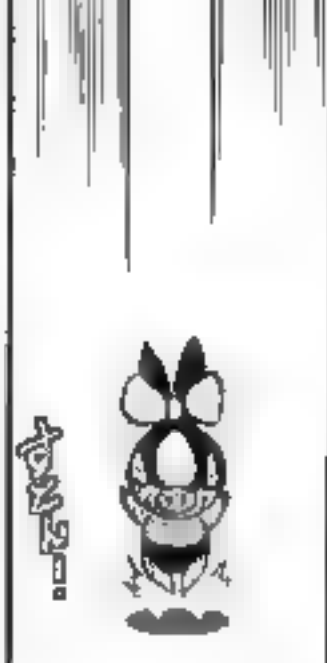
ギア チェンジ。

ギアンーサーン!!

今だ、キリキザン。

どうも聞いていた印象とちがいますね。
自分に火の粉がふりかからないと関心を示さない人だと。
でも、なかなかの正義漢ではないですか。

噂のとおりだよ。
ふりかかり
ガマンできなくなった
からこそ動いた。
ほう
それはいったい。

おまえたち
プラズマ団が
地下に城なんか
作ったせいで、
何か月もずーっと
微妙にゆれてるんだよ、
わたしの部屋の
テーブルが。

カードやルーレットの
動きを邪魔され続けて
イライラした。
それが
理由さ。

さあ、その
重そうな
フードを
とって
もらおう！

なんだ!? 今の速さは!?
"テレポート"などではない! 純粋に速い!!

それに、さっきまでヤツの足の下にいたのはギギギアルだった!! だが 今の一瞬…

あれは…、いったい…!?

すっ…。

まあ!
かわいい!

わかったわ。
芸能を続けたい、あなたの気持ち。

でも今の、あなたの親はNよ。
だからBWエージェンシーであずかるってことになる。それでいい?

コクー

行きましょう!! ブラックくんとNの戦いの場へ!!

つくぞォ!
まだこんな力が残ってるのか!!

あと一撃、確実にヒットできれば…!!

ゼクロムが2匹!!
どうして…。
今だ、レシラム!!
ゴオオ

〝りゅうのはどう〟!!

…ゾロア!!

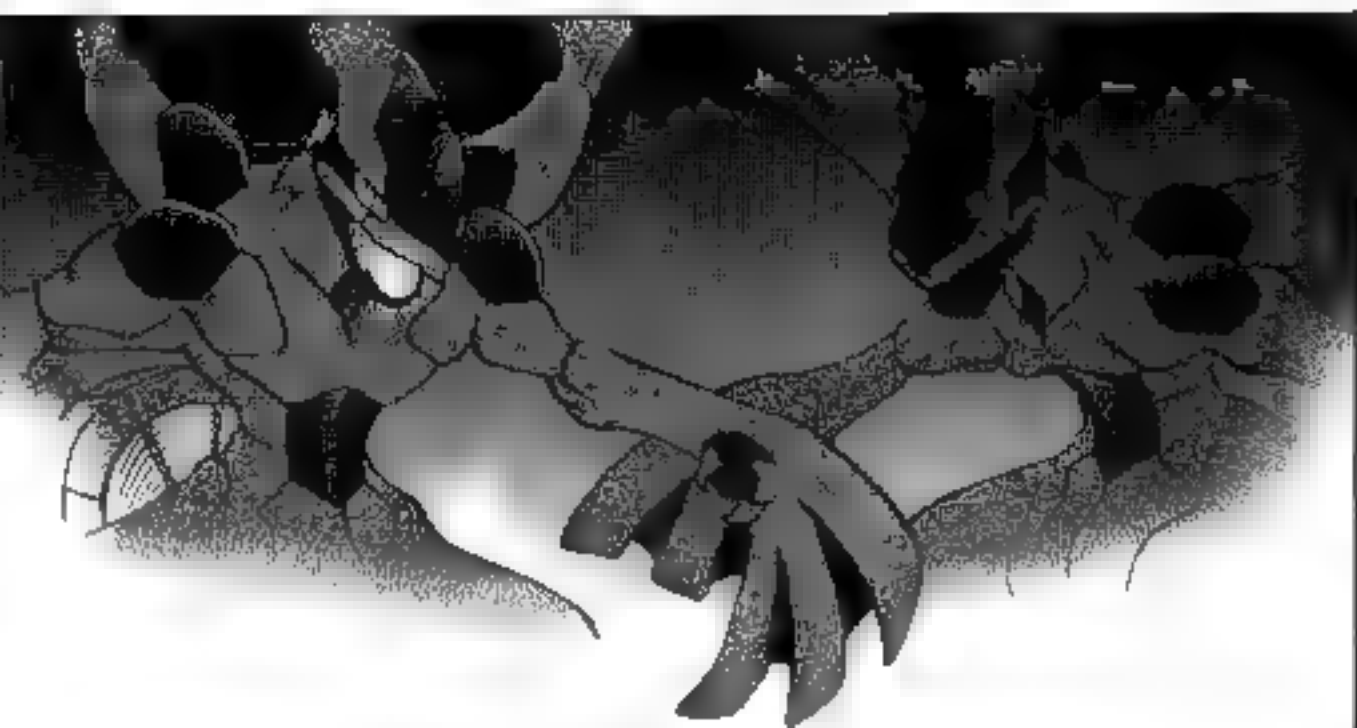
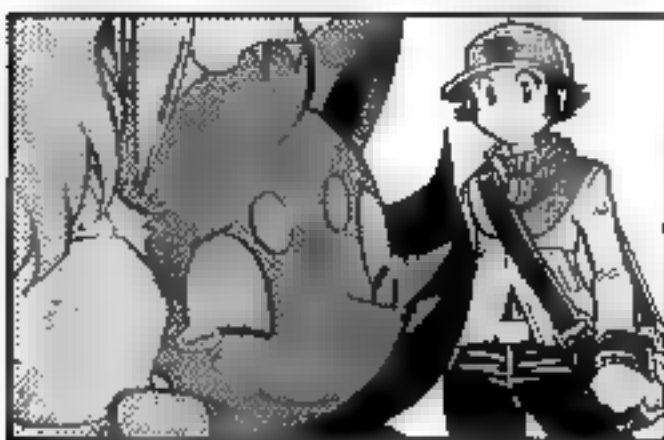
どうして、
解放したのに、どうして。

決まってるだろ?

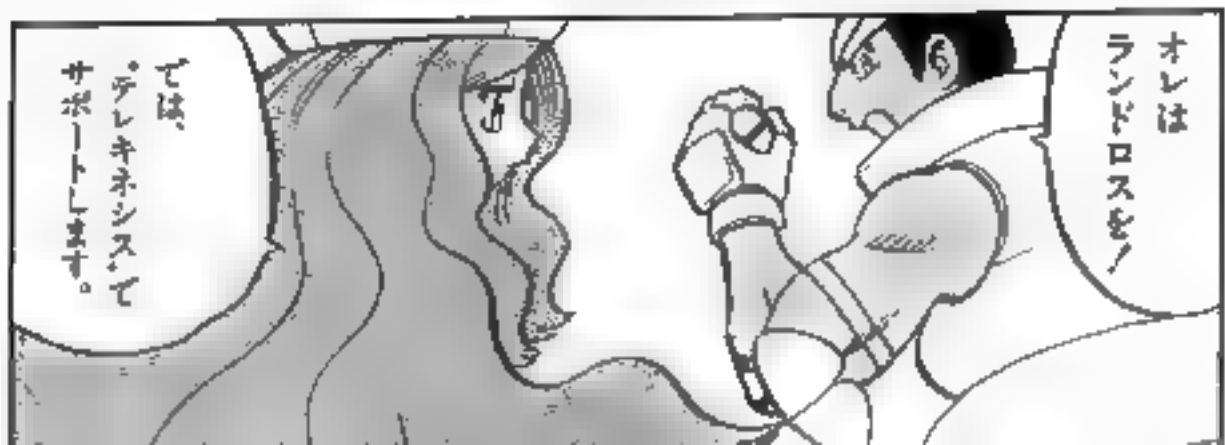
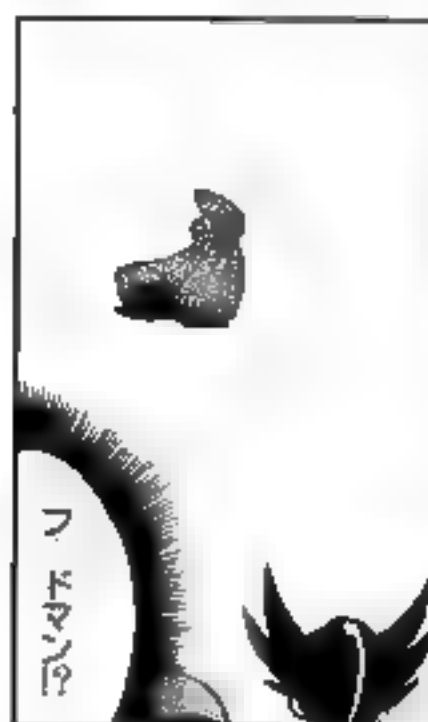
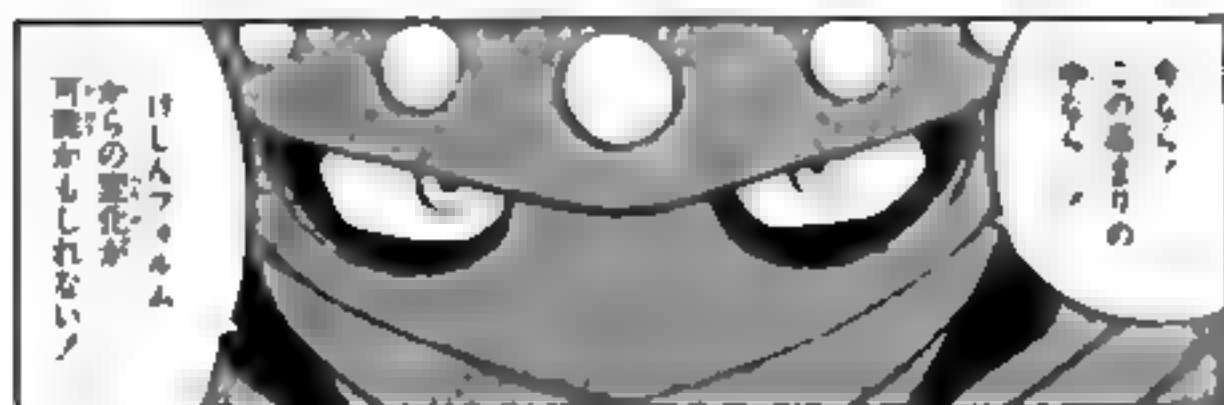
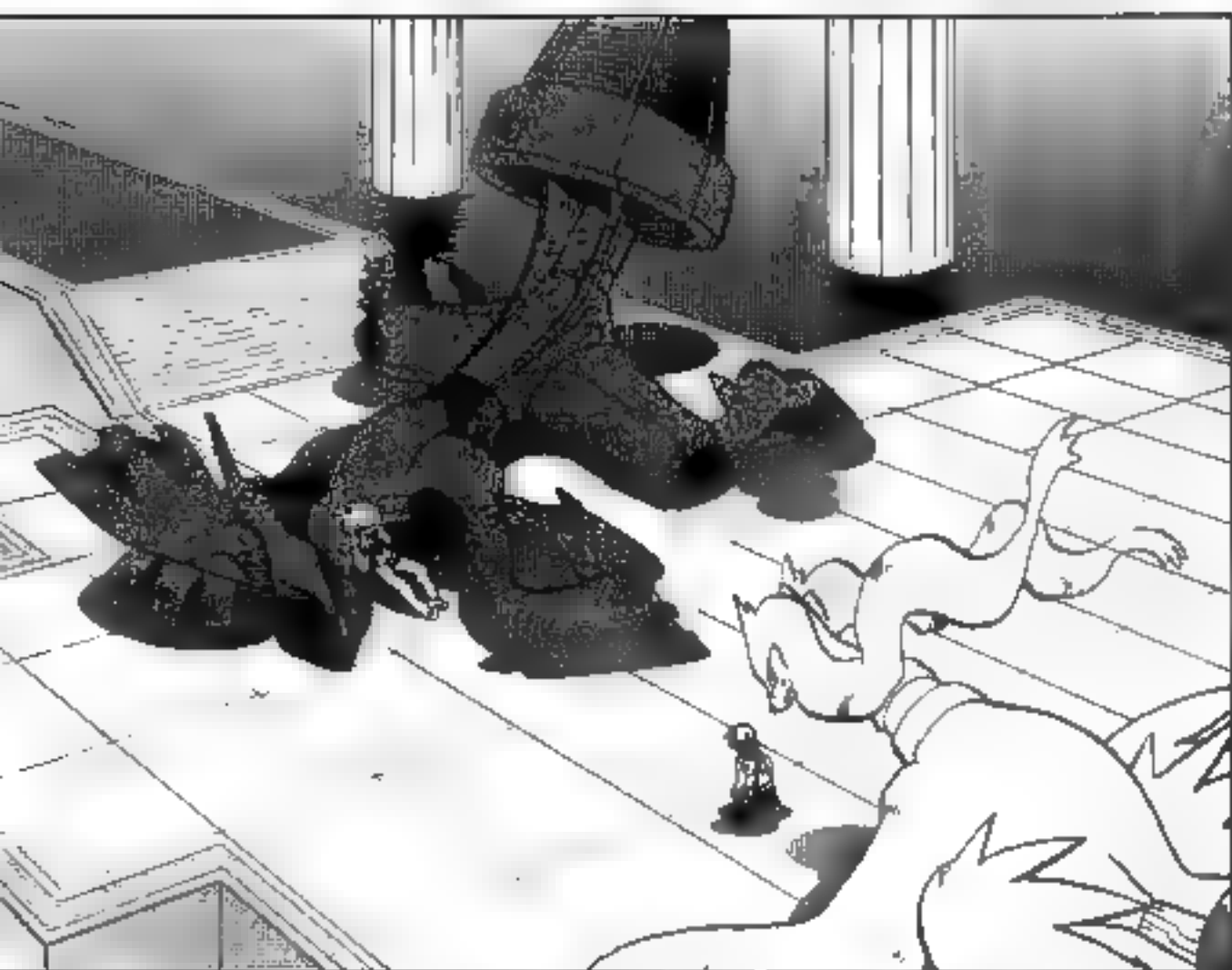
少しでもおまえの役に立ちたい。
そうじゃないか？

そのとおりだよ。

ボクといっしょにいたい。
そう思ってもどってきたって。
ぷぷちゃんといい、キミといい…。

でも、ゼクロムに化けるなんて、
やりすぎだよ。

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#523
ゼクロムVSレシラムⅣ
ZEKROM RESHIRAM
「英雄」

いました。
あそこです。

時速300キロという情報は、大げさではないですね。
おまけに、すぐに雲にまぎれて見失ってしまう！

たぁ!
からてチョップ!!
ワタクシはボルトロスを。
わたしは、じゃあトルネロスに突撃取材しちゃいます~!
サイコショック!!
ベビーボンバー!!

レンプたちは
あそこか・・
む？

フ ドマン!?

いい、すごくいい!

これでこそ
フフフ。

けしんフォルム
からの変化が
可能かもしれない!

?

さっきからウンともスンとも言わねえが・

なんだ、寝ちまったのか？

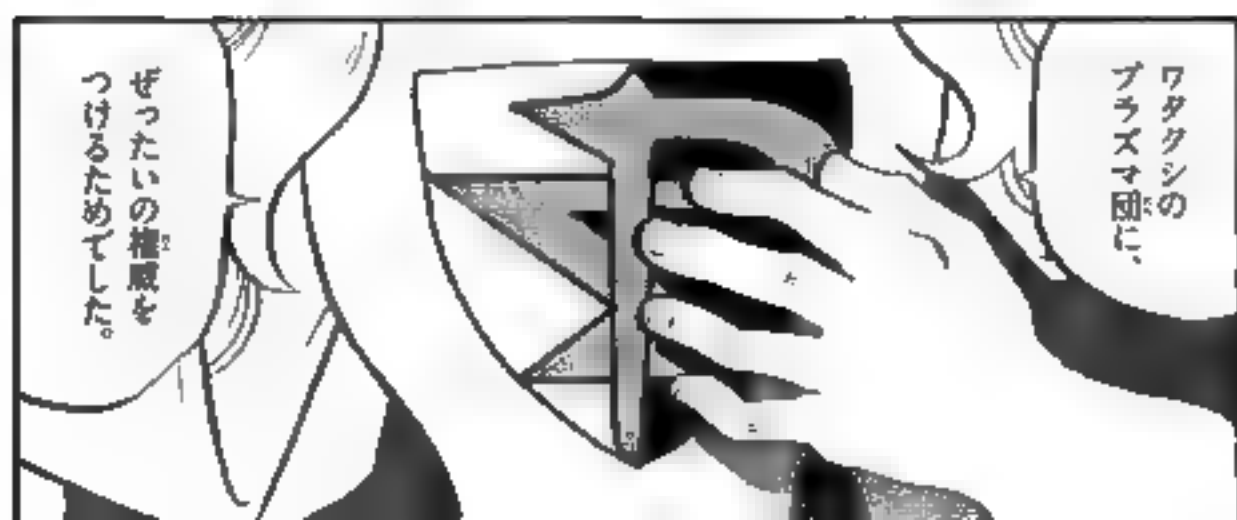
みんな!!

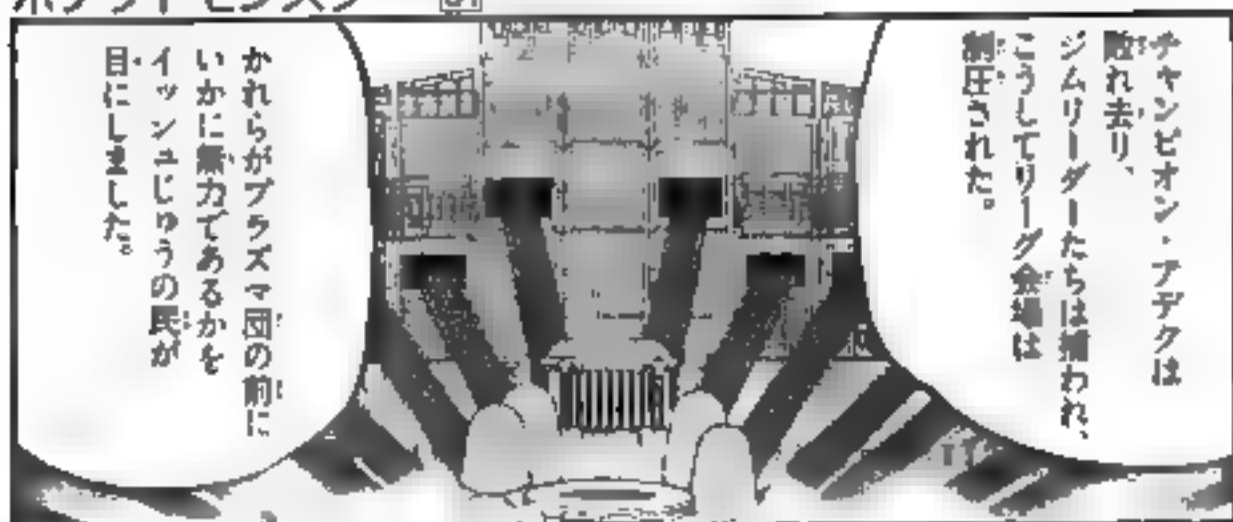
下の戦いも一段落ついたのか!?

チェレンとオレをその煙で包んで、おんなし夢を見せてくれてさ。
チェレンの心の中わからせてくれたのも、おまえだろ!?
どうだい、N?ちゃーんとオレたちには絆があったんだぜ!
って、わざわざ聞かせるまでもねえか。
ポケモンの気持ちがわかるヤツなんだもんな。
ふがいない。
まったくふがいない。
それでもワタクシと同じ「ハルモニア」の名を持つ人間ですか?

言葉どおりの意味ですとも。ここでぶざまにひざをついているのは、ワタクシの息子です。
ワタクシ、「ゲーチス・ハルモニア・グロピウス」の。

ここまでことが進めば、すべてを話してしまってもさしつかえないでしょう。

もともとワタクシがNに「理想」を追い求めさせ、伝説のポケモンを現代によみがえらせたのは、

いくらそれが正しいことであっても民はそうかんたんに受け入れないし、ついてもこない。

だが、かれらの多くは「ゆるぎない権威」や「圧倒的な強さ」にひきつけられやすい。

チャンピオン・アデクは
敗れ去り、
ジムリーダーたちは捕われ、
こうしてリーグ会場は
制圧された。

かれらがプラズマ団の前に
いかに無力であるかを
イッシュじゅうの民が
目にしました。

あまつさえ、
敗退した!

無論、あなたを排除するという意味です。
サザンドラ、焼きはらっておあげなさい。

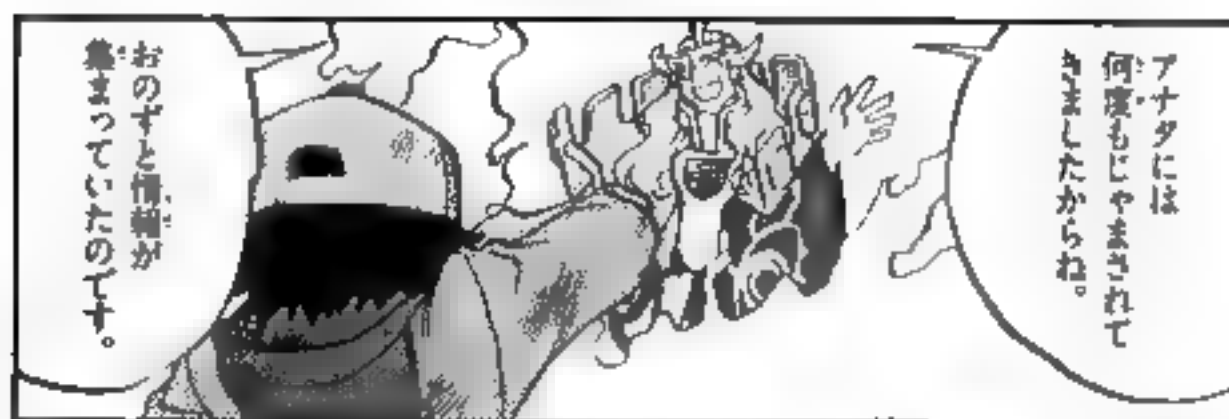
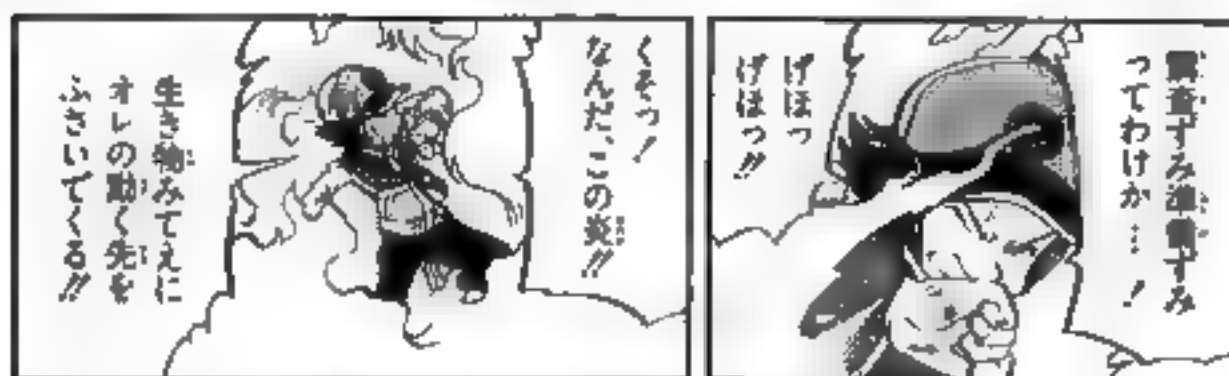
くあ…っ!!

…こんな炎に…
負けっかよ!!

ゴーラ、
炎を消しちまえ!

ブオウ、
サザンドラを
たたきのめせ!!

!!

こ、
これが
ゲーチスの……
……手持ち!!
ゴーラとウォーには
シビルドン。
ブオウには
ガマゲロゲ。
ムシャには
デスカーン。
チュラは
炎のフィールドで
身動きがとれねえ!!
すべて
オレの
手持ちたちの、
苦手タイプ
じゃねえか!!

アナタには何度もじゃまされてきましたからね。
おのずと情報が集まっていたのです。

調査ずみ準備ずみってわけか…！
げほっげほっ!!

くそっ！なんだ、この炎!!
生き物みてえにオレの動く先をふさいでくる!!

この炎が、アナタもアナタのポケモンたちも、
不都合な事実もろとも消してくれるでしょう。

なんなんだよ、不都合な事実って!?
わかりませんか？

Nがアナタに負けた、
という事実です。

Nにはこの先も
プラズマ団の王で
いてもらわねば
なりません。
民の心をまとめるには
やはり「王」が必要。

そのためには、
「王が負けた」という
事実が残るのは
よくない。

さいわい
ドラゴン対決の決着は
この城の中でつき、
それを知るのは
ワタクシたち3人だけ。

てめえ……！

「Nは
どんな強者にも
負けなかった！」。
「アデクに勝ち、
黒VS白の
ドラゴン対決にも
勝利した！」。
そうやって、

かれの「英雄」としての
価値をどんどん
高めていくことにより
民は服う。
「あれほどポケモンと
心を通わせることができる
王がイッシュの頂点にいるのなら、
自分たちがポケモンを持たずとも
共存共栄できるにちがいない」と。

「ポケモンの
解放」は
進むこと
でしょう。
したがわない
人間が
いたとしても、
権威と
数の力があれば
つぶすのは
かんたんなこと。

最終的に
ポケモンを持つ人間は、
ワタクシたち
プラズマ団のみとなる。
それが
ワタクシのめざす
「理想」の世界です。

なんだそりゃ!?
Nがかかげてた
「理想」とずいぶん
ちがうじゃねえか。
てめえのその
プラン、
Nは知って
んのかよ?

知ってるわけないでしょう。

彼はただの「かざり」です。

ゲエエチスウウッ!!!

2匹を相手にしているシビルドン、わずかに手うすなのはあそこだ!

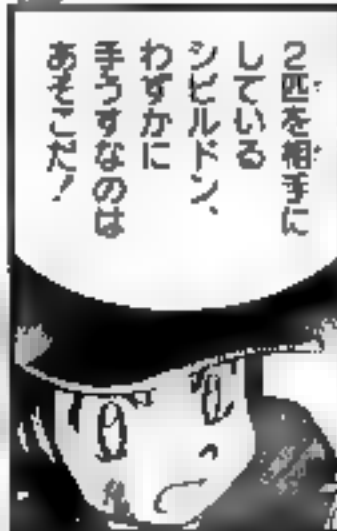
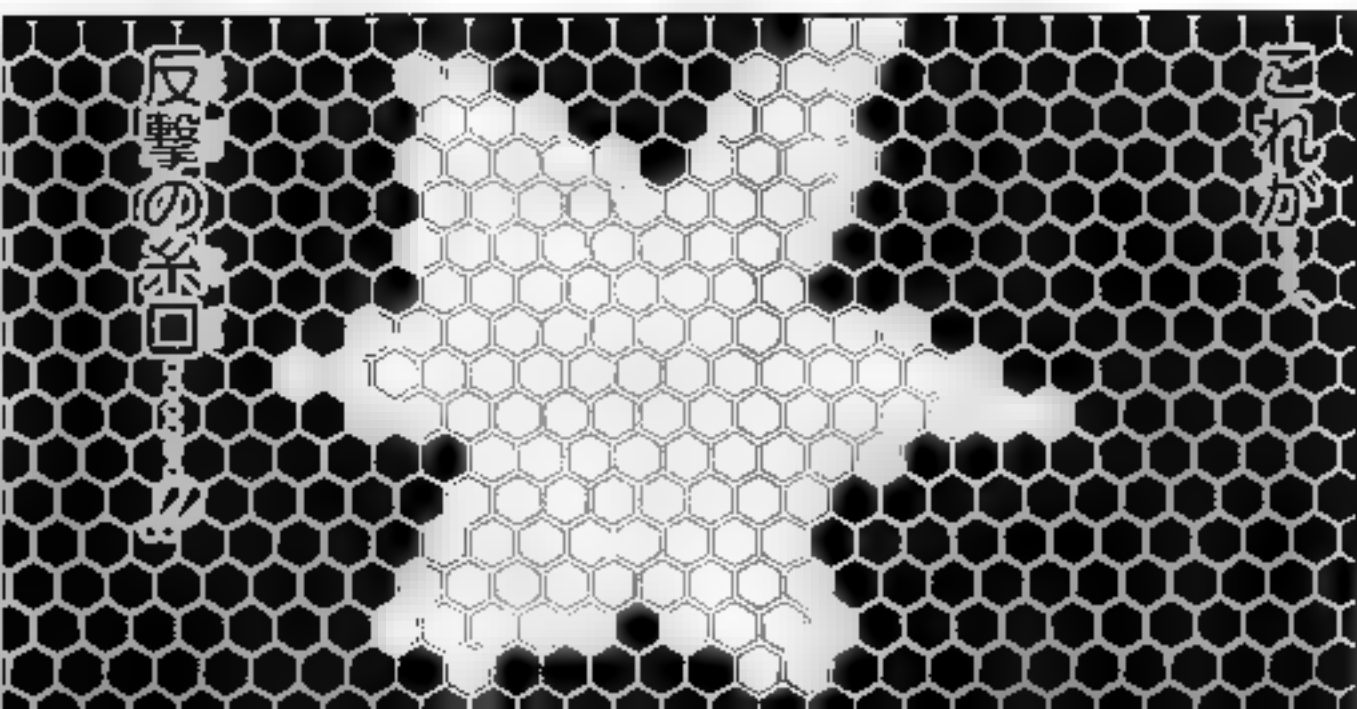
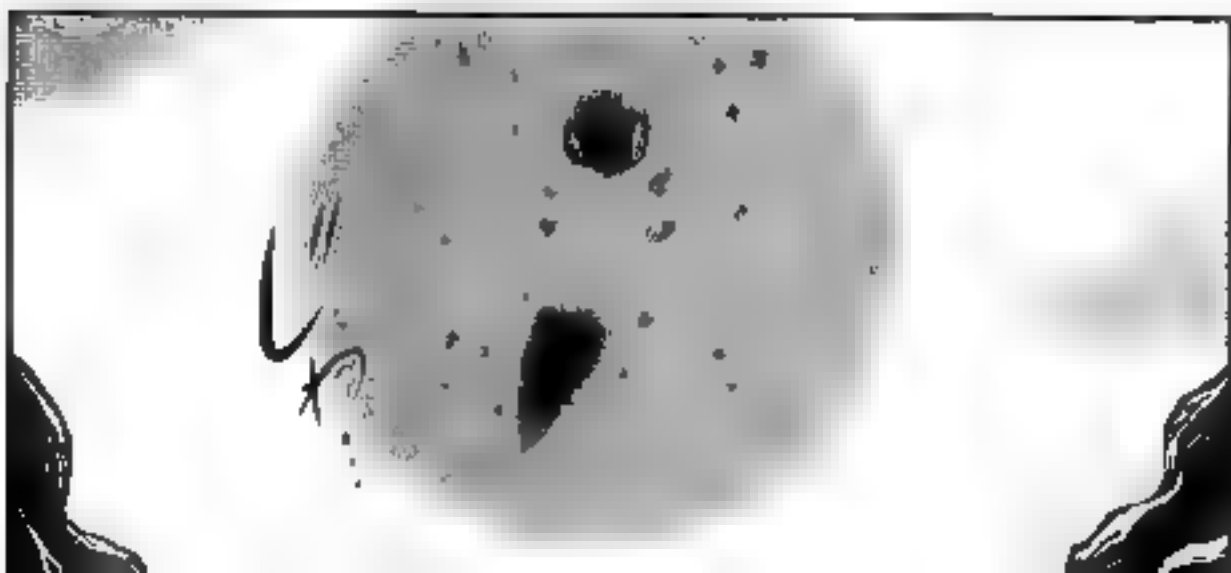
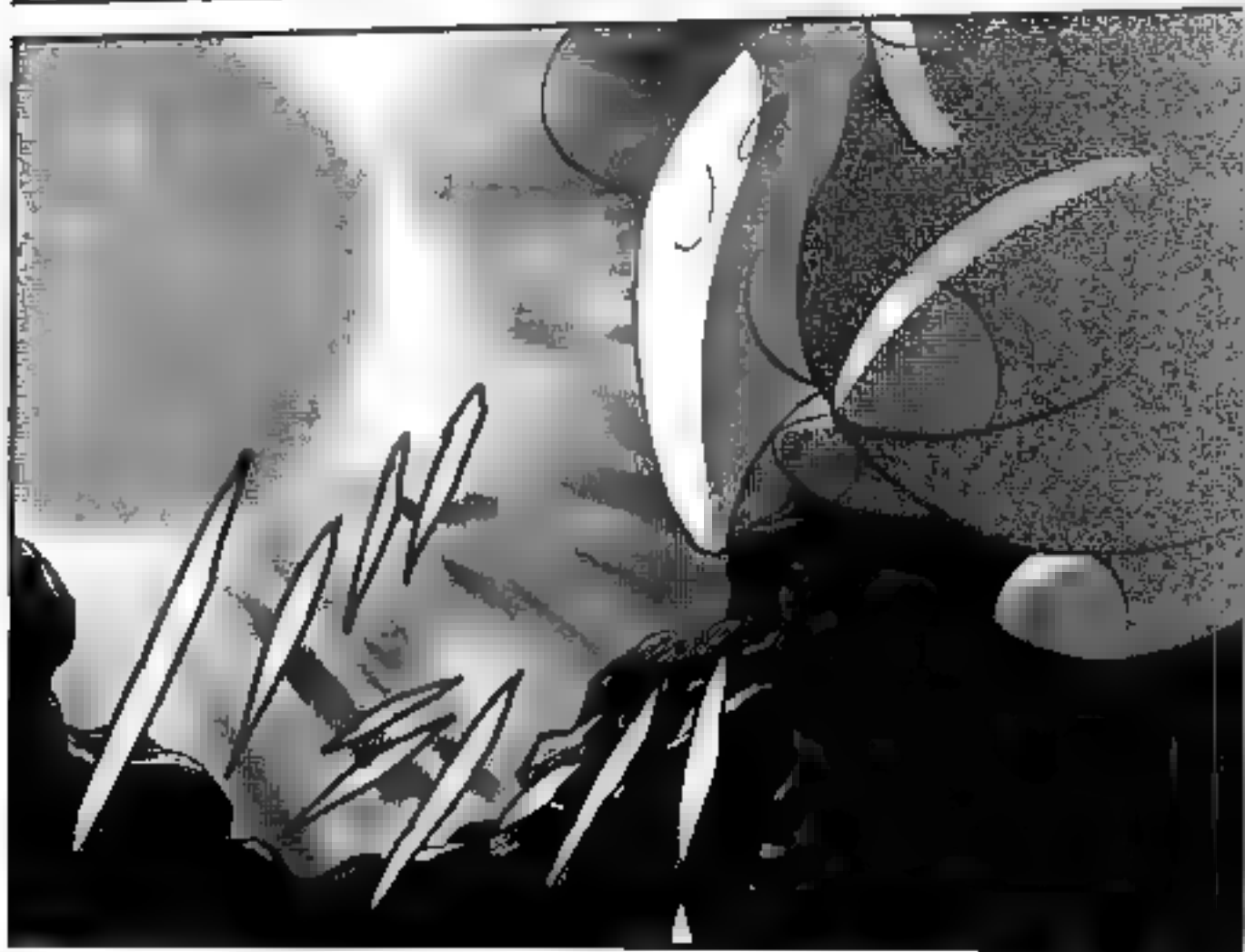
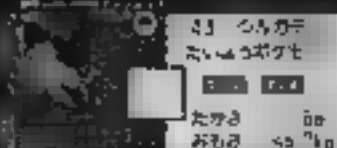
ウォー、なんとか突破口を開いてくれ!!

負けてたまるか!! ここで負けたら、
イッシュの人たちが利用され、ふみにじられる!

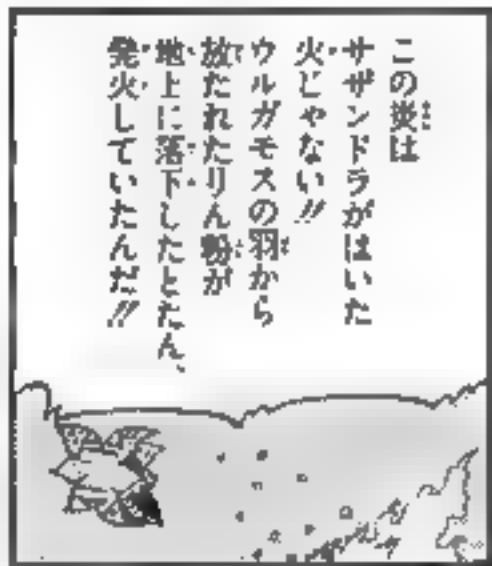
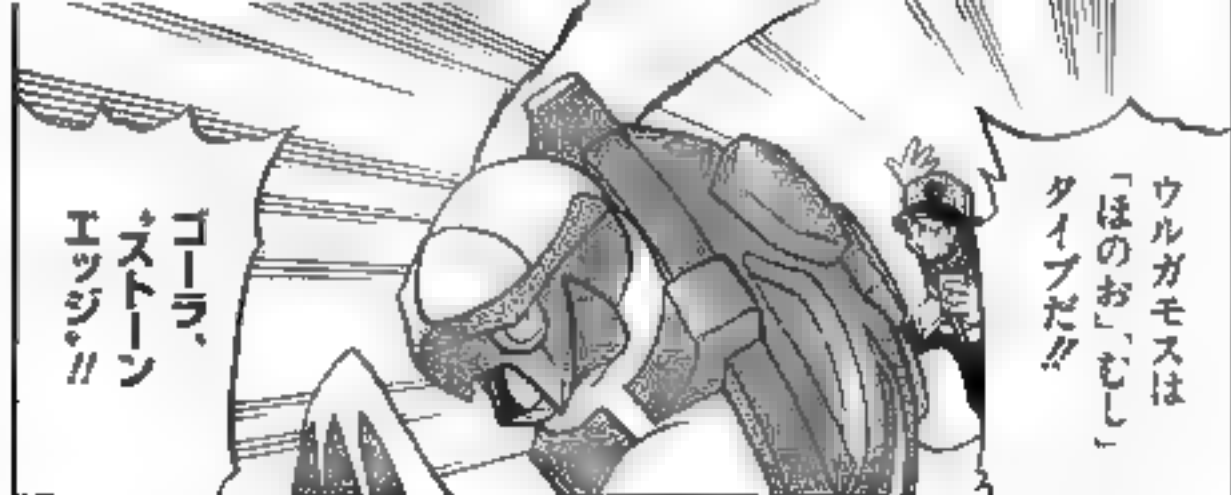
Nのように!!

あるはずだ!! あの男に打ち勝つヒントが…!! きっとある!!
そのためには一度、頭の中を
白……!!
そこに今見た情報が入ってくる
まっ白になった頭の中が情報で黒くうまる。
黒
これが…
反撃の糸口…!!

ムシャ!!
太陽だ!!
太陽をうて!!

夕陽を保護色に
ひそんでいた
もう一匹!

たいようポケモン、
ウルガモス!!

この炎は
サザンドラがはいた
火じゃない!!
ウルガモスの羽から
放たれたりん粉が
地上に落下したとたん、
発火していたんだ!!

これが
生き物のような
炎の正体か!!
だったら…

ウォー、
りん粉も炎も
"ふきとばし"
ちまえ!!

ウルガモスは「ほのお」「むし」タイプだ!!
ゴーラ、ストーンエッジ!!

ムシャ、〝めざめるパワー〟!!

ウォー、〝フリーフォール〟!!

チュラ、〝シザークロス〟!!

ブオウ、〝フレアドライブ〟!!

ウルガモス‥
こんなあっさりやられるとは‥
火山灰で天がおおわれ地上が暗闇に閉ざされた時、太陽のかわりになったと伝えられるポケモンなのに。
古代の城でさらにタマゴを増やすことによって、ダークトリニティの一人にメラルバを持たせてやることもかなったというのに。

にがさねえぞ、ゲーチス!!

ストーンエッジ!!

鏡に映るは映る。

しかし…

変化が起こるところまではいかない。

鏡がきっかけ、というのはまちがいない。
でもこの鏡は正解ではないと。

おや？

ゲーチスがやりこめられたようですね。

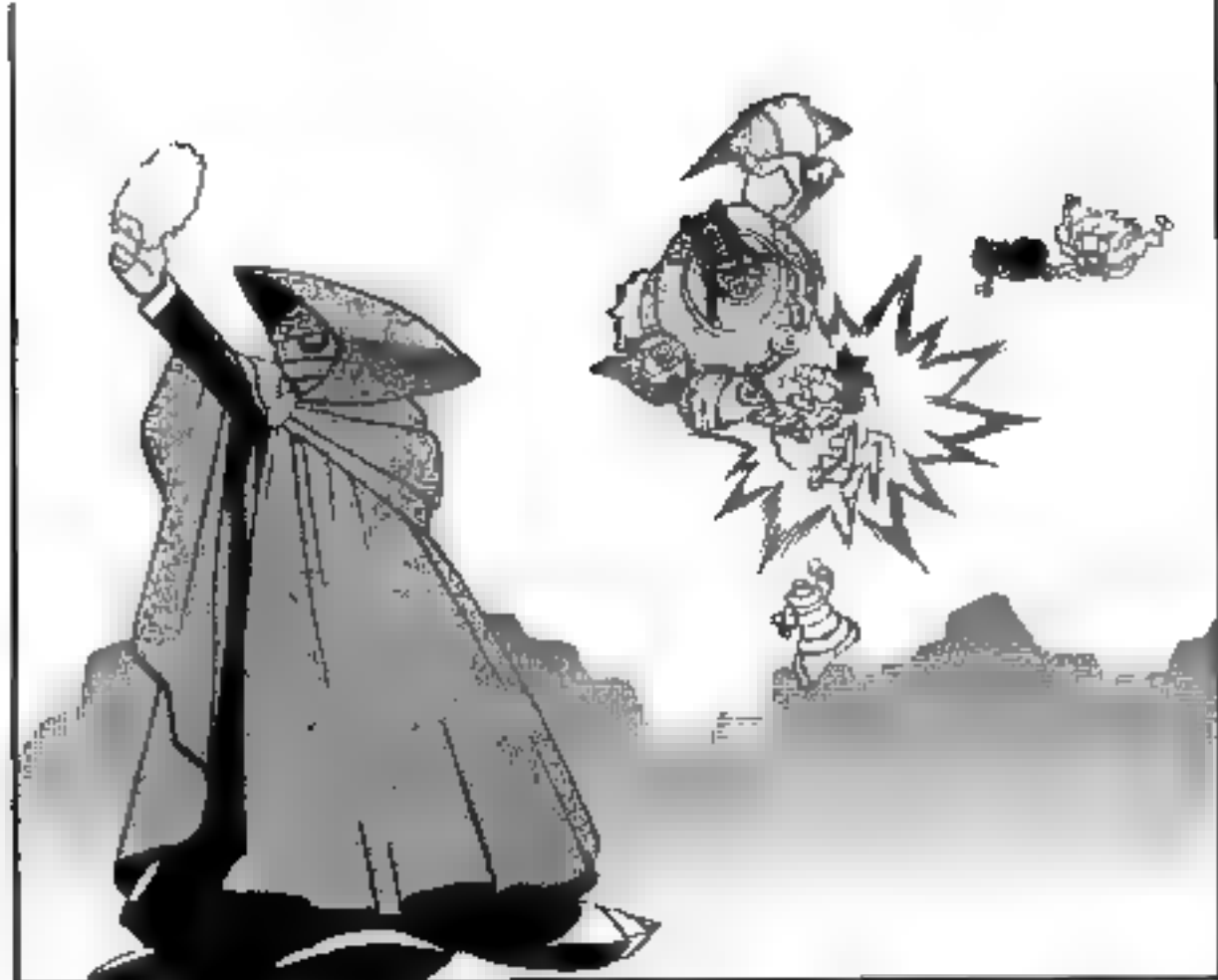
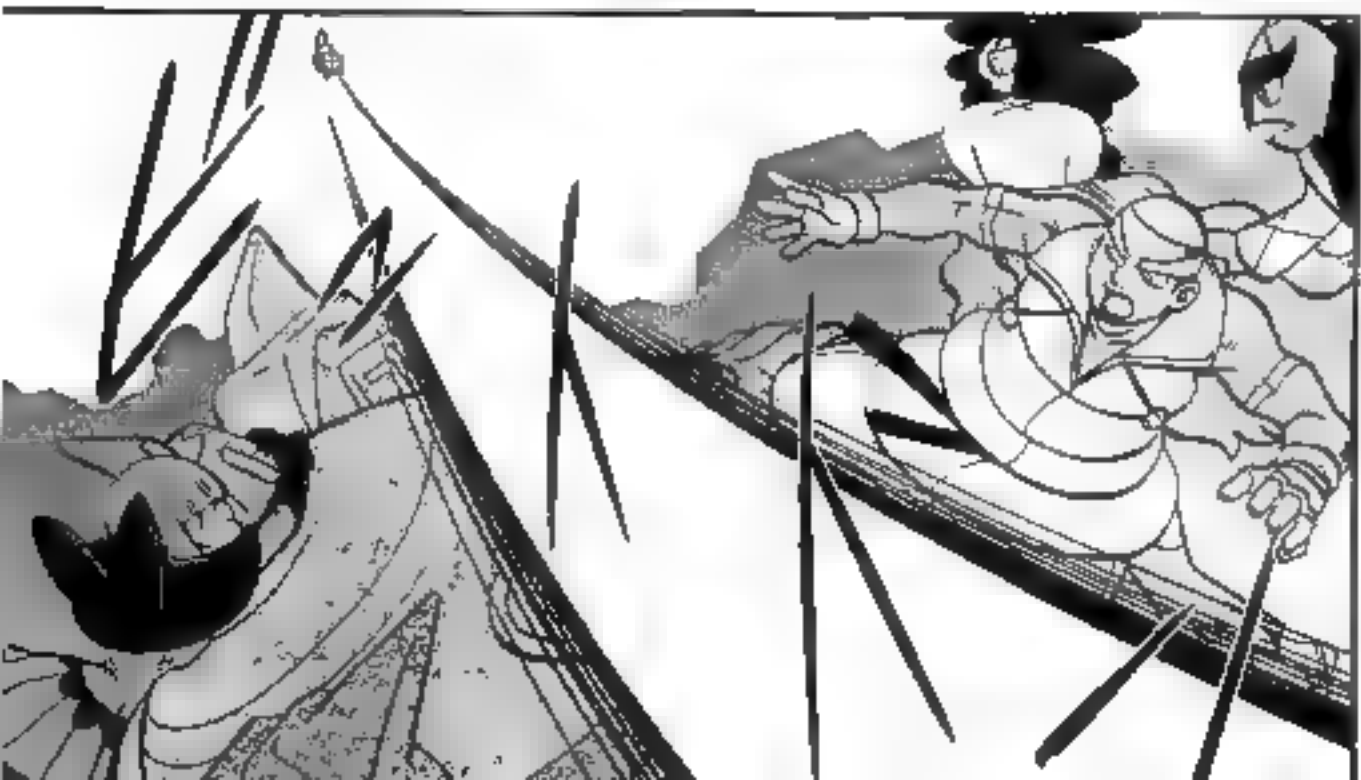
このへんが潮時でしょう。
特別なパワーを持つ「龍」も探さなくてはいけませんし。

待て!!

待ちません。
でも楽しかった。
楽しかったので、また会うこともありましょう。

さてと、
ゲーチスをどうしようか。
シャガさんに引き渡せばいいのかな？

ブラックくん…。

社長!!

POCKET MONSTERS SPECIAL
The Tenth Chapter
BLACK&WHITE
#524
ゼクロムVSレシラムV
ZEKROM RESHIRAM
「消失」

さあ、下に行くか！

本当に解放しなきゃいけないのは、「解放」って言葉にしばられちまった連中さ。

少し、
待ってくれないか？

N！

ぷぷちゃんもいっしょなんだね。

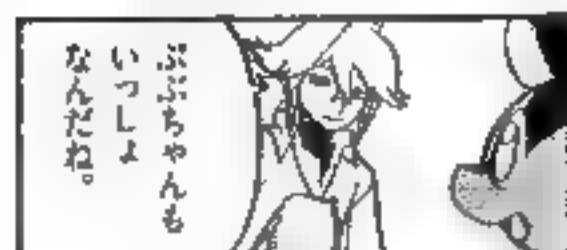
ええ。フードマンにあなたの部屋に置いていかれて
そこでね。

あなたのおかげよ、N。
こうしてぷぷちゃんの声を聞く事ができたのは・・・。

……。

キミたちと…こんなにおだやかに話ができるなんて…。
不思議だ…。

本当はずっと…、
こうしたかったのかもしれない…。

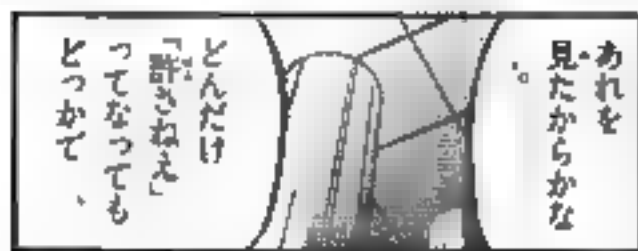
N…。

いいじゃねえか。
今こうして話できるようになったんだし、
結果オーライだよ！

カラクサで
はじめて戦った時、
ムシャがおまえの
夢を食って出した煙……。

そこに映りこんでた……、
とてもおだやかで
安らかな……、
おまえの夢……。

あれを
見たからかな
……。
どんだけ
「許さねえ」
ってなっても
どっかで
、

こいつは
いいヤツだ、
いつもポケモンの
幸せを一番に考えてる
すげえいいヤツだ。
その「真実」だけは
まちがいねえって
思ってた。

………。

キミとはじめて
カラクサで
戦った時から、
ボクの気持ちは
ゆらいでいた。

旅を続ければ
続けるほど、
気持ちは
ゆらいだ。

だからこそ、
自分が信じて
いたものがなにかを
確かめたくって
キミと戦った。

同じ「英雄」として、

向き合いたいと
願った。

サヨナラ。

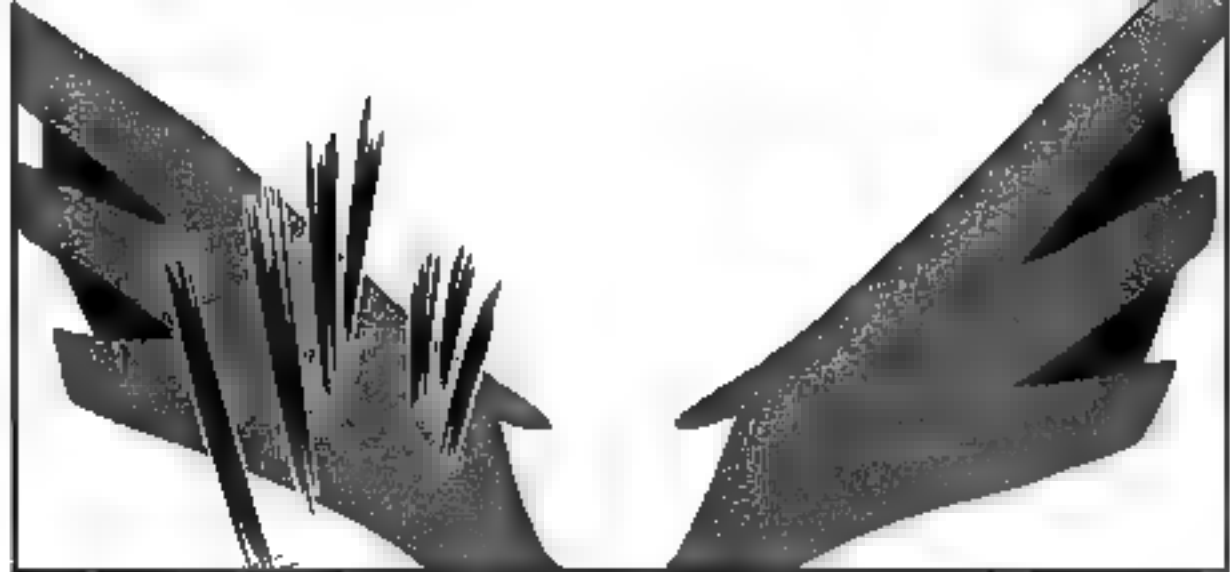
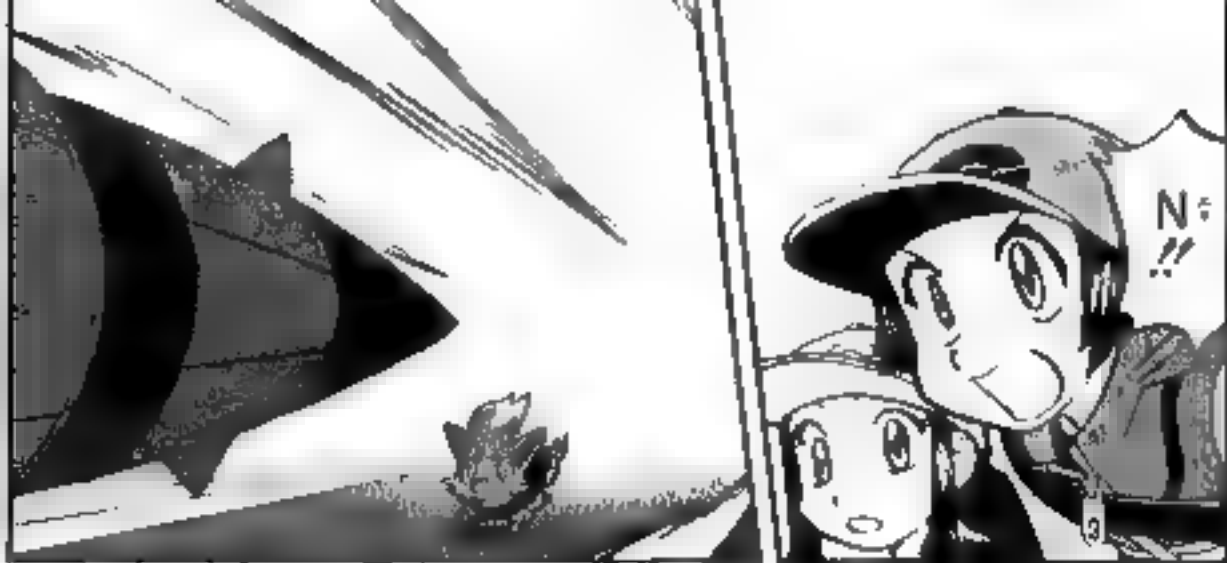
N!!

レシラム、すごく吠えてるね。
ああ。

対をなす相手がいなくなって、
半身を失くしたような気分なんだろうぜ。

!?
なに?
レシラムに引っぱられる!!

社長、下がるんだ!
この感覚、レシラムがライトストーンからもどった時と感じが似てる!

あの時、解放されたものが今度は、
内側へ内側へ入ろうとしている!
ゼクロムとのケリがついたんで、また石になろうとしてるのかもな。
オレたちも巻きこまれないよう、はなれていよう。

ワタクシの計画をつぶした英雄を葬るうまい方法を、その英雄自身が教えてくれたのですから。

ブラックくん!!

二度と会うこともないでしょう、

約束・・・。
破ったわけじゃねえんだぜ。

な、なに言ってんの？

なんだよ、忘れてたのか？
ヒウンで言ったじゃねえか。

ポケモンリーグに出場できた時は、
これをつけるって。

うちの会社のロゴ…。

おぼえててくれてたんだ。
つたりまえだって

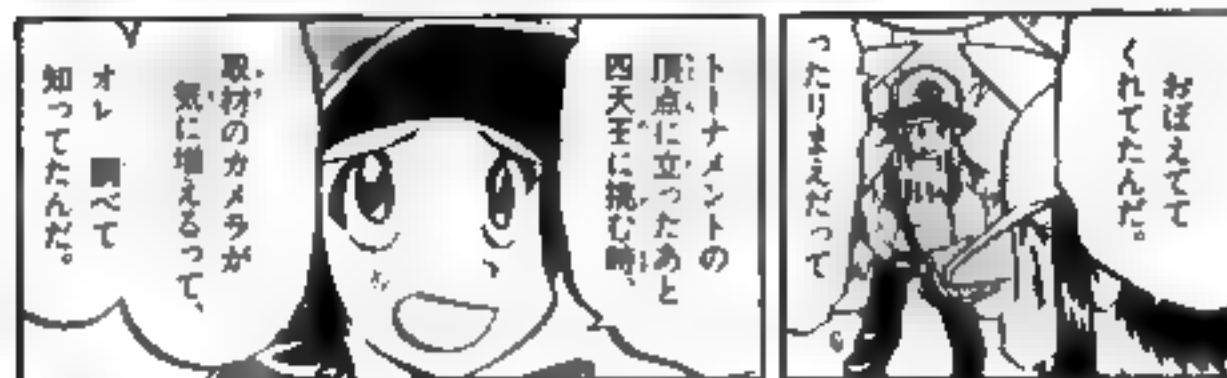
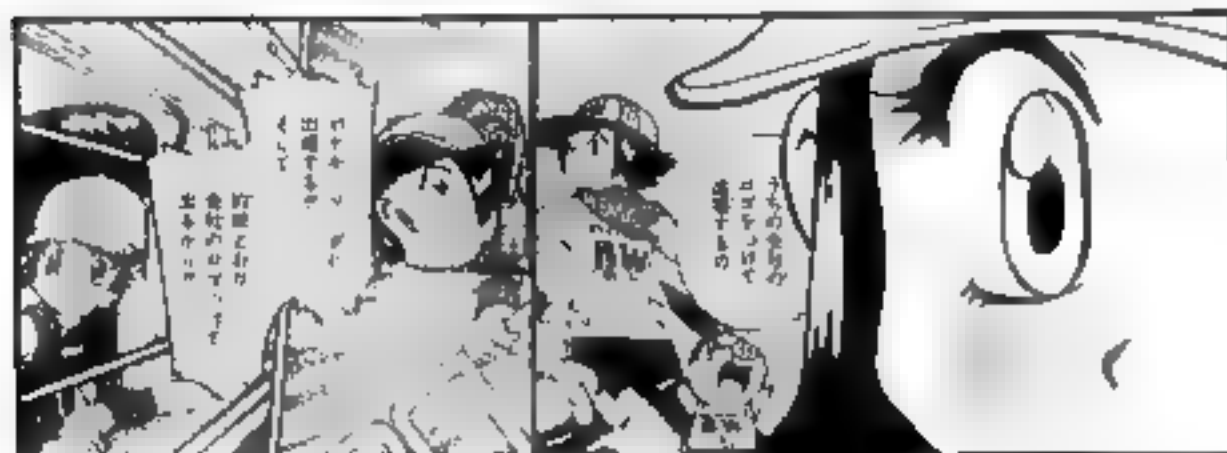
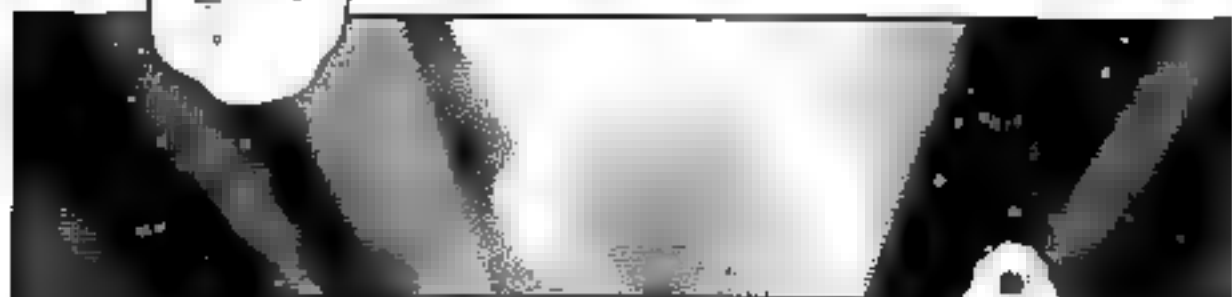
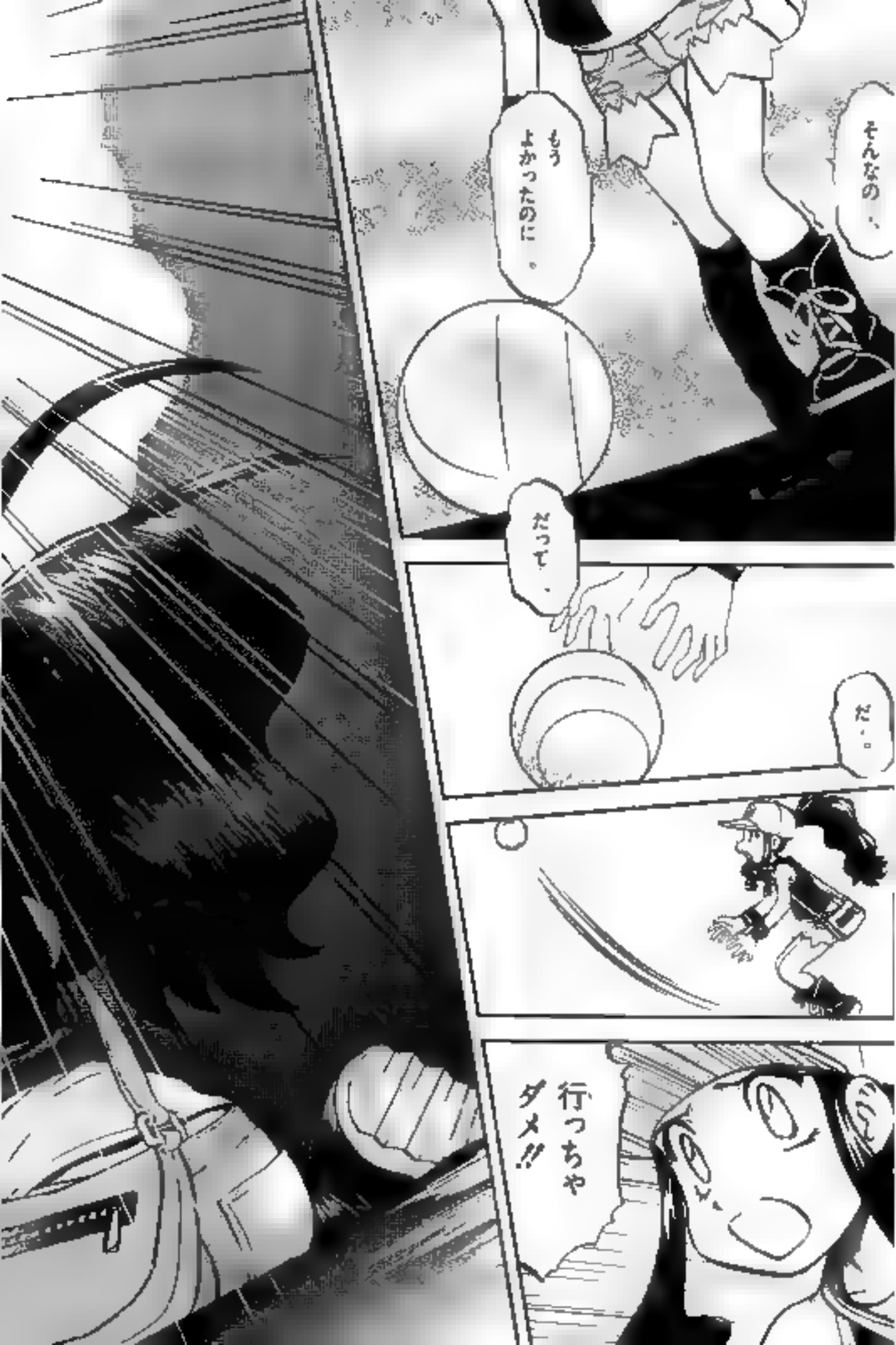
トーナメントの頂点に立ったあと四天王に挑む時、
取材のカメラが気に増えるって、
オレ調べて知ってたんだ。

だからそのタイミングでパッと上着を脱いでさ、
「ドラマ・映画・CM・舞台から印刷物まで、『BWエージェンシー』をよろしくお願いしますッ!!」
って叫ぶつもりだったんだ。

しくったなァ…。

オレ…返せたかい!?

たてかえてもらった機材の代金。

いたのか。

そんなの…
もうよかったのに…
だって…
だ…
行っちゃダメ!!

ブラックくううううん!!

ポケモンリーグ、
なかなかおもしろい
イベントでした。
イッシュ各地から集まった
実力派トレーナーや
四天王と手を合わせ、
そのデータを手に入れる
ことができた。

あなたの
おかげです、
ゲーチス。
感謝します、
盟友よ…。

礼には
およびません。
ワタクシも
アナタに助け
られましたから。

「記憶の上書き」
のことですか。

アナタとも今後もうまくつき合えそうですね。

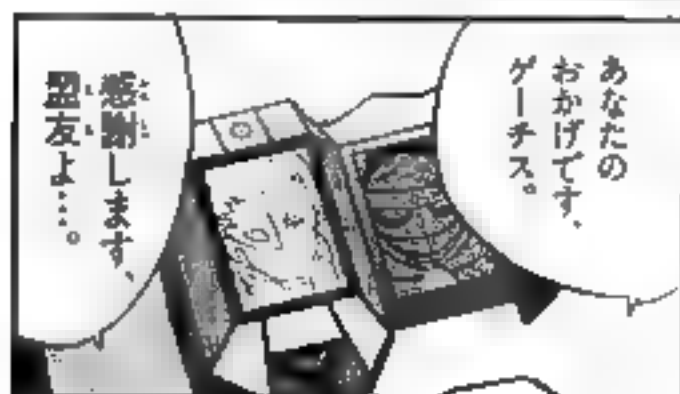
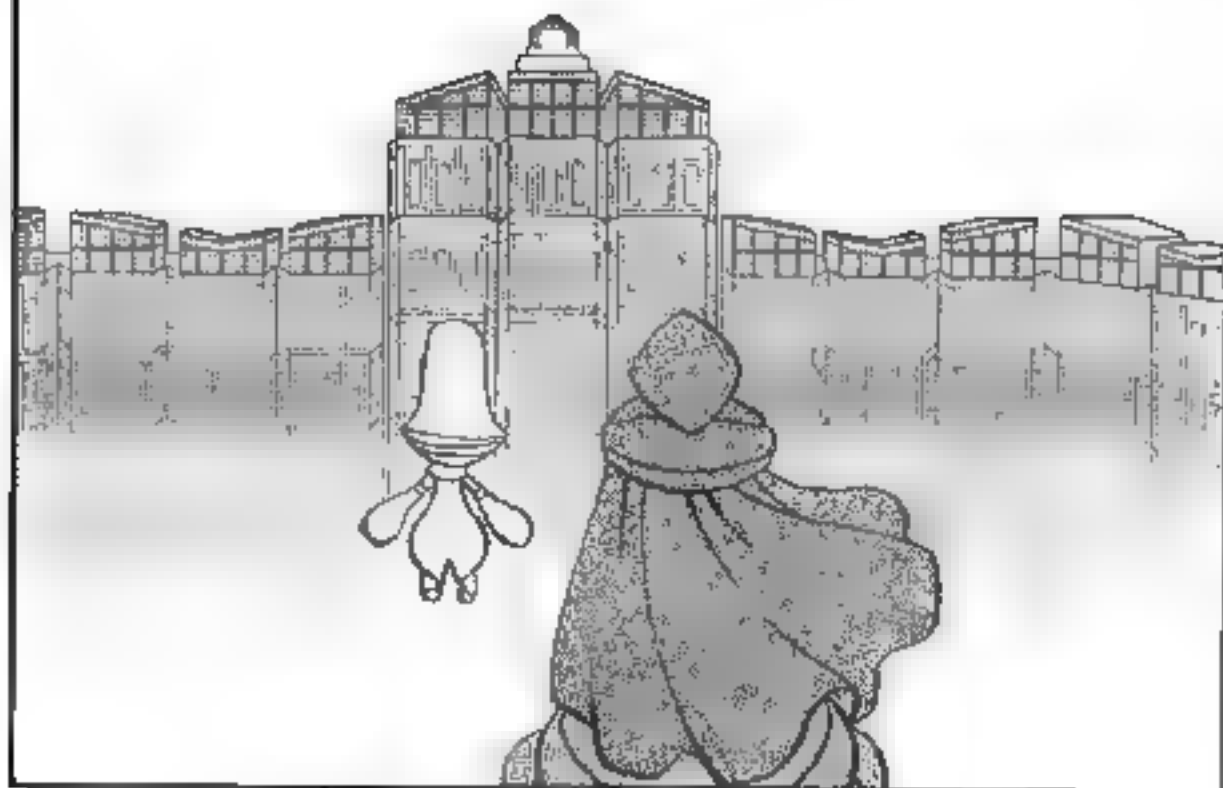
かまいませんよわたしの研究の邪魔にならない範囲なら。

いえ、むしろ

役に立つことのほうが多そうです。

わたしの研究テーマ

「ポケモンの力を害することなく最大限に引き出すこと」、

その追求のために。

さ、早く用意しなさい。もうここにはいられないのだから。

ねえ、ママいっしょにいちゃダメ？
みんな悪い人間から解放されたポケモンたち、N様の大切なトモダチなのよ？
ダメよ。
かまいませんよ。

ヘレナ様！
バーベナ様！

このポケモンたちを今までお世話してくれてありがとう。
あなたはどの子と一番仲良しなの？
んーとね…、

この子！

じゃあ、いっしょにいてあげてね。あと、これも。
ペンダント？

N様だあ!!
大切にしてね、
彼がもどるまで。

TO BE
CONTINUED
IN B2W2

トビラ絵コレクション

「ポケモンファン」「コロコロイチバン！」掲載時に描かれた、各話のトビラ絵を公開!! ブラックとホワイトの旅の軌跡を、迫力あるイラストで振り返ってみよう。

「コロコロイチバン!」
2012年9月号

「コロコロイチバン!」
2012年10月号

「ポケモンファン」21号

「ポケモンファン」22号

コロコロイチバン!
2012年11月号

「コロコロイチバン!」
2012年12月号

「コロコロイチバン!」
2013年1月号

『コロコロイチバン!』
2013年2月号

「コロコロイチバン!」
2013年3月号

ポケモンファン 26号

「ポケモンファン」28号

「コロコロイチバン!」
2013年5月号

「コロコロイチバン!」
2013年6月号

『ポケモンファン』27号

コロイチバン!
2013年7月号

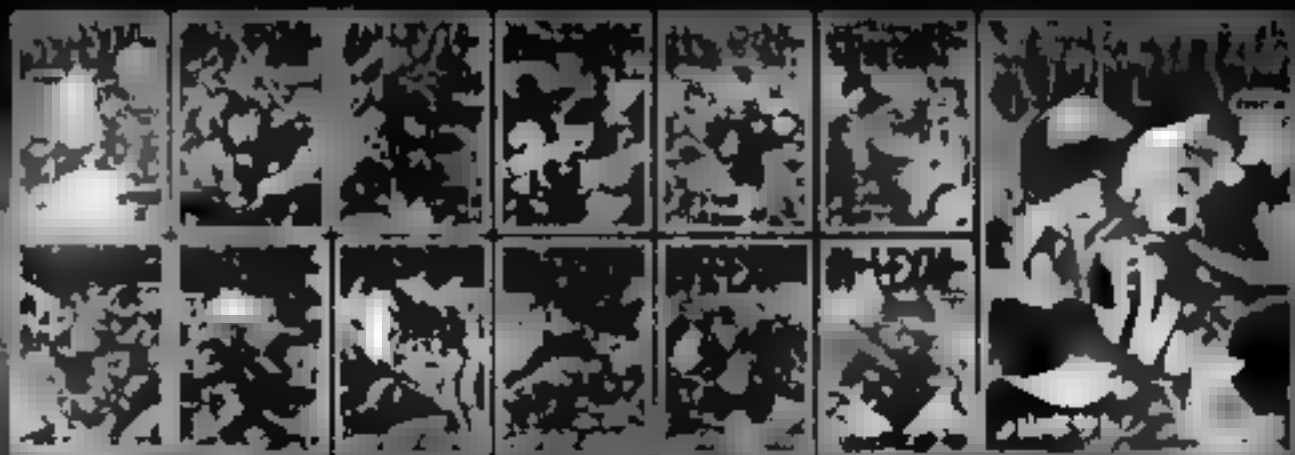
ポケットモンスター SPECIAL
52巻
次巻予告!!!
──昼はニコニコ
プレイボーイ──
みんなサンキュー、
ユウユちゃん今日のかみ型はヒマナッツとおそろい？
マユちゃんはいつもいいにおいだね、ミツハニーのミツのおかげかな？
いやされる〜〜。
ユキちゃんの元気はキャモメのはばたきみたいでボクも元気になれるよ。
キャー
ラクツくん!!
いそいで！午後の授業、劇場室に変更なの!!
新しい先生が来るんだって
──夜はバリバリ
バトルボーイ──
その正体は──!!!

Nを慕うナゾの少女!!

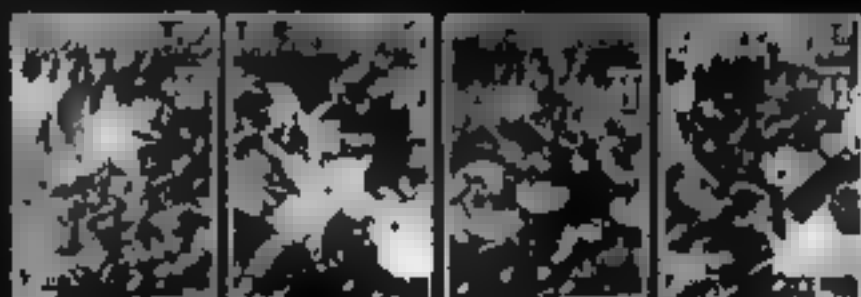
バトルに捕獲、なんでも来いの通称…『ミスターパーフェクト』!!

ポケモントレーナー特別養成学校「トレーナーズスクール」を舞台に展開する、2年後のイッシュストーリー！

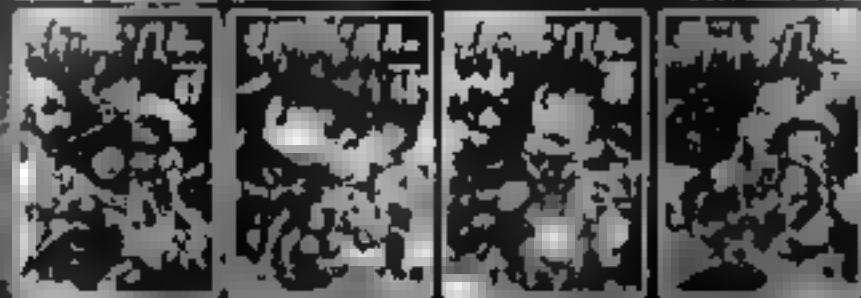
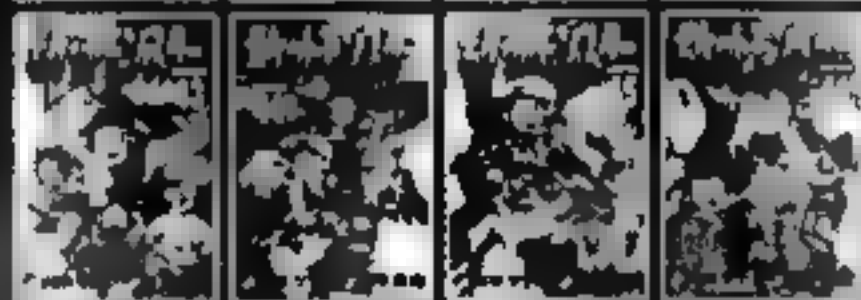
ポケットモンスターSPECIAL

第十二章 B2・W2編！

全開フルスロットル！

修業も恋も！ 速攻にスタート!!

壮大なるポケモンサーガ!!

最新巻
以下続巻!!!

ポケットモンスター
51

超人気
発売中!!

希望と絶望が同時にやってきました――。

カロス地方、
アサメタウン。
主人公は部屋に
こもりきりの
ひねくれた少年…

エックス!!

伝説の2匹！
怪しい組織
「赤スーツの一団」！
そして腕のリング…!!
謎が謎を呼ぶ事件をへて
友情で結ばれた5人が故郷を旅立つ――!!!
Tentomusi COROCORO COMICS
ポケットモンスターSPECIAL
X・Y
第1巻 大人気
発売中!!!

てんとう虫コミックススペシャル　「コロコロイチバン!」「ポケモンファン」連載作品

ポケットモンスタースペシャル 51

2014年7月30日　初版　第1刷発行　（検印廃止）

シナリオ　日下秀憲
まんが　山本サトシ

発行者　佐上靖之
印刷所　三晃印刷株式会社

PRINTED IN JAPAN

発行所　（〒101-8001）東京都千代田区一ツ橋2の3の1
TEL　編集 03(3230)5445
販売 03(5281)3556

株式会社 小学館

ISBN978-4-09-141809-8

本文デザイン／瀬川真由美・鈴木 册・設楽 満
編集協力／長澤優美子・唐木田ひろみ　編集担当／村田直人